

2026 年度

入学試験要項

特別選抜入試

〔社会人〕

〔海外帰国生〕

〔外国人留学生〕

愛知淑徳大学受験生応援サイト
「ASNAVI」で最新の情報を
確認してください。

出願前、試験前日、試験当日は
必ず確認してください。

<https://www.aasa.ac.jp/welcome/>

愛知淑徳大学 ASNAVI 検索



■ アドミッション・ポリシー(入学者受入方針)

愛知淑徳大学は、「違いを共に生きる」を理念として掲げ、性別、国籍、年齢、異なった能力など、さまざまな違いをもつ者が共に学ぶ環境づくりに努めている。その環境の中で繰り広げられる多彩な教育・研究活動を通じて、広い視野と深い思考力を身につけ、時々刻々と変化する現象に対する洞察力と時代を先取りする先見性を獲得し、さらに、新たな価値の発見とその普及のための優れた実践力が養成されている。このような伝統を継承し、さらに推し進めるための学生受け入れ方針として、多様な入試制度を導入している。

特別選抜入試は社会人、外国人留学生及び海外帰国生を対象とした入試である。

実社会や異なる文化的背景をもつ国で獲得した豊かな経験を基にして、本学において専門性の高い知識や技術を身につけようと考えている者を対象としている。

<受験上および修学上の合理的配慮>

障がい等のため、受験上および修学上の配慮を必要とする方は、アドミッションセンターまでご連絡ください。

本学では、視覚・聴覚および肢体不自由等の障がいのある方が出願する場合は、必要に応じて入学後の学修体制の説明をおこなうための面談を実施しており、面談での内容をご了解いただいたうえで出願をお願いしています。

出願を希望する方は、2025年10月3日(金)までにアドミッションセンターへご連絡ください。期日後の申し出については、受験時の配慮ができない場合があります。

受験上の配慮に関する一般的な例

補聴器または人工内耳の装用、試験時間中の薬の服用、拡大文字問題冊子配付、チェック解答、点字解答、座席を試験室の出入口付近に設定、別室の設定など

■ 手続き方法

出願を希望する方は、期日までにアドミッションセンターへご連絡ください。面談を実施する場合は、日時を調整し、あらためてご連絡します。その後、「受験上の配慮申請書」を郵送しますので、医師の診断書等を添えて必要事項を記入のうえ、アドミッションセンターまでご返送ください。

■ 注意

- ・ 日常生活において、補聴器、松葉杖、車椅子等を使用している方で、試験当日も同様に使用する場合は、試験場設定等の関係から配慮が必要となりますので、必ず申請してください。
- ・ 出願後の不慮の事故などにより、受験時に配慮を必要とする場合も、速やかに問い合わせてください。

TEL(052)781-7084(直通)

平日/9:00～17:00(土・日・祝日、7月25日、8月8日～18日は電話受付をしておりません)

目次

学科・専攻別アドミッション・ポリシー	1
1 募集人員・入試日程・出願資格・出願書類・入学検定料	
特別選抜入試（社会人）	7
特別選抜入試（海外帰国生）	9
特別選抜入試（外国人留学生）	12
2 インターネット出願	
出願の流れ	17
1. 事前準備	18
2. マイページの作成	19
3. 出願登録	19
4. 「インターネット出願確認票」等の印刷	19
5. 入学検定料の納入	20
6. 出願書類の郵送	21
7. 受験票の取得	21
3 選抜方法・配点	22
4 受験上の注意	22
5 試験会場（星が丘キャンパス）案内	23
6 合格発表	24
7 入学手続	24
8 成績開示	26
9 学納金〔1 年次〕	27
10 奨学金	29
11 2025 年度 入試結果	30
12 過去の入試問題について	31
不正行為の取り扱いについて	
入試に関する生成 AI (ChatGPT など) の取り扱いについて	

個人情報の取り扱いについて

愛知淑徳大学では、「個人情報の保護に関する法律」に基づいて、個人情報を厳重に管理します。

出願に際してお知らせいただいた氏名、住所、電話番号、その他の個人情報は、志願者への連絡や、入学試験用データとして利用します。これらの個人情報は、愛知淑徳大学に入学された後、入学者用データとして、教学および大学生活全般に関する業務、ならびにこれらに付随する業務をおこなうために利用します。また、愛知淑徳大学関連団体がおこなう同様の業務のためにも利用します。

なお、これらの業務は、愛知淑徳大学および愛知淑徳大学関連団体より当該業務の委託を受けた業者（以下、「受託業者」といいます）においておこなう場合があります。この業務委託にあたり、受託業者に対して、委託業務を遂行するために必要となる範囲で、お知らせいただいた個人情報の全部または一部を提供することがあります。あらかじめご了承ください。

学科・専攻別アドミッション・ポリシー

文学部

●国文学科

①学生に期待すること

国語・国文学の研究を通じて、総合的な思考力を身につけるとともに知性・感性を磨き、社会に貢献できる人材となることを期待する。

②学生募集に際して重視すること

書物と主体的に向かい合う姿勢や、自身の意見を論理的な文章によって書き表す能力を有すること。また、その前提となる基本的な文章読解力や語彙力が身に付いていることを重視する。

③入学前学習として推奨すること

図書館などを大いに活用し、書物の世界に慣れ親しむこと。また、読後に要点や感想などを書き出してまとめ、思考力と文章力を養うことも推奨する。

教育学部

●教育学科

教育学部では、教員としての専門的知識、総合力、実践力を身に付け、社会や教育界の発展に寄与したいと考えている意欲的な学生の入学を求める。

①学生に期待すること

小学校又は特別支援学校の教員、中学校・高等学校教員(英語)として活躍するために、必要な専門的知識と技能の習得に積極的に取り組むことが求められる。また、教育が直面する諸問題に対応する力を備え、豊かな人間性と確かな実践力を身に付けた教員を目指して努力することを期待する。

②学生募集に際して重視すること

将来、小学校教員又は特別支援学校教員、中学校・高等学校教員(英語)として、学校教育に携わりたいという強い意欲があり、教育に対する情熱と責任感を有することを重視する。また、自ら進んで他者と協働して課題に取り組むコミュニケーション能力を備えていることも必要である。

③入学前学習として推奨すること

教師として幅広い分野での基本的な学力が必要となるため、高等学校までに学習する教科・科目の基礎的知識と技能を着実に習得しておくことが不可欠である。また、教育問題や教育活動に関心を向けることも重要である。

人間情報学部

●人間情報学科 感性工学専攻

①学生に期待すること

情報デザイン制作と情報システム制作において、人の感性に関する知識と AI(人工知能)技術を活用することにより、AI 時代の情報化社会において STEAM 人材※として活躍する意欲を持つことを期待する。

※STEAM 人材とは、科学的でありつつも、創造的な

発想で技術開発や問題解決のできる人材を指す。

②学生募集に際して重視すること

- ・人の感性やユニバーサルデザインの視点から効果的な情報サービス、製品、空間をデザインしたり、人にやさしく豊かなデジタルライフを提案・創造したりすることに関心を持っていること。
- ・AI や IoT、ビッグデータ、ロボット制御の技術を活用してアプリを開発したり、情報システムを構築したりすることに関心を持っていること。
- ・これらの内容について記載された文章や図表を理解できる論理的・数理的な思考力と基礎学力を身に付けていること。

③入学前学習として推奨すること

- ・感性やユニバーサルデザイン、AI、IoT、ビッグデータ、ロボット等のキーワードを含む記事、ならびにそれらが情報サービス、製品、空間のデザインやアプリ・情報システムに活用されている事例について記載された記事に日頃から目を通すこと。
- ・これらの記事の論旨を要約できる力や主張の根拠の妥当性を的確に指摘できる力、ならびに記事内に記された図表が示す意味を読み取る力の向上に努めること。

●人間情報学科 データサイエンス専攻

①学生に期待すること

統計学に基づく伝統的なデータ分析法から機械学習等の AI(人工知能)を駆使した最新のデータ分析法までを修得することで、AI 時代の情報化社会において、データ分析のスペシャリストとして活躍する意欲を持つことを期待する。

②学生募集に際して重視すること

- ・データ分析により、人の知覚や感情、行動、運動、性格等の“人”を理解することに関心を持っていること。
- ・データ分析の知識と技術をマーケティングやエンターテインメント、スポーツ、流通、情報通信、健康、福祉等の多岐に渡る分野に応用することに関心を持っていること。
- ・これらの内容について記載された図表や文章を読み解く論理的・数理的な思考力と基礎学力を身に付けていること。

③入学前学習として推奨すること

- ・新聞、雑誌、WEB ページなどに記載された図表を含む記事や広告等に日頃から目を通すこと。
- ・記事や広告等に記載された図表の示す意味や図表を表示する効果、図表とその説明文章との関係性を読み解く力、ならびに読み取った内容を要約して文章化できる力の向上に努めること。

●人間情報学科 数学・情報教員養成専攻

①学生に期待すること

- ・数学と AI(人工知能)技術を含む情報学を修得することで、AI 時代の情報化社会において、先

進的な中学・高等学校の教育者として活躍する意欲を持つことを期待する。

②学生募集に際して重視すること

- ・数学と情報分野との関係性を理解することに関心を持っていること。
- ・AIや教育用アプリなどの情報技術を駆使し、これらを教育に活用することに関心を持っていること。
- ・これらの内容について記載された文章や図表を読み解く論理的・数理的な思考力と基礎学力を身に付けていること。

③入学前学習として推奨すること

- ・高校数学(Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、A、B、C)、高校情報Ⅰの基礎を身に付けていること。
- ・AIをはじめとする最新の情報技術やこれらに関する記事の論旨や数理的意味を理解する力、ならびに読み取った内容を要約して文章化できる力の向上に努めること。

心理学部

●心理学科

①学生に期待すること

心理学部では、人間に関わるさまざまな現象に関心を持ち、論理的かつ客観的に分析していく姿勢が求められる。また、人の心の問題について自分なりの考えを持っているだけでなく、異なる意見を持つ人たちと議論しながら考えをまとめていくことも必要となる。こうした学修活動に積極的に取り組むことが期待される。

②学生募集に際して重視すること

心理学部では、自らおこなう心理学の研究を卒業論文という形でまとめる。そのためには、図表などからデータを読み取り、それに基づいて客観的に考え、まとめる力が必要である。また、自分の考えを主張するだけでなく、多角的な視点をふまえた上で他者と議論するコミュニケーションの力も必要となる。さらに、本学心理学部で学ぶことができる内容についても、偏りなく把握しておくことが重要である。

③入学前学習として推奨すること

心理学は、文系・理系といった枠にとらわれない。文章理解力や数学的な分析力はもとより、人間の生物学的な特徴の理解も必要であるし、社会的な視点も必要である。つまり、高校で学ぶ主要教科の基礎学力をバランスよく確実に身につけておく必要がある。そのため、受験のための教科以外についても、高校までの学習内容を復習しておくことが大切である。

創造表現学部

創造表現学部では、それぞれの専攻の学修を通じて「表現力」「創造力」「コミュニケーション力」を

高めることによって、豊かな自己表現ができ、実社会の諸問題にも適切な対処ができる人材の育成を目標にしている。この目標を達成するために、入学者には以下の点を期待する。

●創造表現学科 創作表現専攻

①学生に期待すること

知的財産としての言語文化・表象文化についての興味関心と、それについて深く学ぼうとする意欲とを抱いて入学してほしい。

②学生募集に際して重視すること

本専攻のカリキュラムを理解し、文芸を中心とした創造的な表現活動に携わり得る知識と実践的な表現技術とを修めるのに必要な基礎力を有していること。

③入学前学習として推奨すること

高等学校までの学習範囲の知識・技能の修得。特に、国語の学習や読書を通して、文章を筋道立てて読み取る読解力と、自分の考えを正しく明確に表すことのできる表現力を磨いてほしい。

●創造表現学科 メディアプロデュース専攻

①学生に期待すること

現代のメディア社会の課題に関心を持ち、マスメディアやソーシャルメディアの役割を知ること。そうした社会のなかで、デジタルメディアや映像、情報デザインなどを通した表現に取り組み、創造的な価値をもたらすクリエイティブな人を目指すこと。

②学生募集に際して重視すること

基礎的な読解力や作文能力、他者とコラボレーションできるコミュニケーション能力、ビジュアル、写真、映像などを用いた表現力を持つことが望ましい。あるいは、これらの能力の向上に前向きであること。

③入学前学習として推奨すること

- ・映像作品や、身の回りにあるデザインなどに興味を持ち、それらがどのように制作されているのか、自ら調べて情報収集する。
- ・社会や表現活動の動向を多角的に見る習慣を身につける。具体的には、関連分野の読書や報道番組の視聴、芸術作品の鑑賞や批評に触れること。

建築学部

建築学部は、建築とその内部空間、建築群を含む都市と地域、周囲環境との関わり方を考え、国や地域の歴史や文化、風土・気候などの多様な観点から将来目指すべき持続可能な建築・都市の未来像を構想する。建築・まちづくり、住居・インテリアデザインを学術的・実践的に学ぶことは、様々な学問領域を横断的・縦断的に学び応用することでもあることから、従来の思考の枠組みや自身の無意識の限界を自ら越えようという意欲と熱意を持つ学生の入学を期待する。

●建築学科 建築・まちづくり専攻

①学生に期待すること

- ・建築・まちづくりに限らず、様々なモノやコトに対する好奇心と興味・関心を持つこと。
- ・知らないことや知っているつもりのことを、自身の頭と身体を使って理解しようと心掛けること。
- ・建築やまちづくりを学ぶことを通して自然・環境・工学・芸術・歴史・文化・風土などのつながりを意識し、部分と全体とを同時に見る広い視野を持てるように心掛けること。

②学生募集に際して重視すること

- ・建築や環境・都市の機能や文化など有形無形のモノやコトを創造することに深い関心と高い情熱を持っていること。
- ・建築空間を目的に応じて機能的にしつつ生理的・心理的に心地良くすることに深い関心と高い情熱を持っていること。
- ・既存の建築と周囲の都市・環境に新たな機能と価値を加え、歴史・文化・伝統を継承し再生・発展させることに深い関心と高い情熱を持っていること。

③入学前学習として推奨すること

- ・建築やまちづくり等にとらわれず、幅広い分野の書籍・文献等をたくさん読み多様な世界に触れること。
- ・年代や場所にとらわれず様々な地域の街並みや建築を訪れ、それらの全体や細部・内部、周囲環境を見るとともに五感で建築空間の環境を感じ取ること。
- ・建築学は文系・理系などの学問分野の枠にとらわれず、様々な分野の学問を学び多様な視点を持つことが求められる。このことを踏まえて、国語や数学における文章理解力や数理的な分析力のみならず、環境や歴史、地域・社会への関心など、高校で学ぶ教科・科目の基礎的学力をバランスよく習得すること。

●建築学科 住居・インテリアデザイン専攻

①学生に期待すること

- ・住居・インテリアデザインに限らず、様々なモノやコトに対する好奇心と興味・関心を持つこと。
- ・知らないことや知っているつもりのことを、自身の頭と身体を使って理解しようと心掛けること。
- ・住居・インテリアデザインを学ぶことを通して自然・環境・芸術・歴史・文化・風土などのつながりを意識し、部分と全体とを同時に見る広い視野を持てるように心掛けること。

②学生募集に際して重視すること

- ・住居の形態や住まい方、空間内部の機能や視覚的デザインなど有形無形のモノやコトを創造することに深い関心と高い情熱を持っていること。
- ・住居空間を目的や住まい方に応じて機能的にしつつ視覚的・心理的に心地良くすることに深い関心と高い情熱を持っていること。

- ・既存建築の内部空間に新たな機能と価値を加え、歴史・文化・伝統を継承しつつ再生・発展させることに深い関心と高い情熱を持っていること。

③入学前学習として推奨すること

- ・住居やインテリアデザイン等にとらわれず、幅広い分野の書籍・文献等をたくさん読み多様な世界に触れること。
- ・様々な地域の街並みや建築を訪れ、それらの全体や細部・内部、周囲環境を見るとともに五感で建築空間の環境を感じ取ること。
- ・建築学は文系・理系などの学問分野の枠にとらわれず、様々な分野の学問を学び多様な視点を持つことが求められる。このことを踏まえて、国語や数学における文章理解力や数理的な分析力のみならず、環境や歴史地域・社会への関心など、高校で学ぶ教科・科目の基礎的学力をバランスよく習得すること。

健康医療科学部

本学部は、言語聴覚学・言語聴覚障害学、視覚科学・視能学、理学療法学・リハビリテーション療法学、臨床検査学・臨床病態学、救急医療・救急救命学の専門家としての医療人の養成、心身の健康に関する広範な知識をもった教員を含めた生涯健康社会のリーダーの育成、医療や健康科学の現場で活躍する人材の養成を目指している。

上記の目標を達成するために、入学者には次の4点を期待する。

- ①医療を含め、健康維持や健康回復に関する高い関心を有し、将来、こうした分野の専門家として社会貢献する強い意思を有していること。
- ②病氣や障がいのある人、高齢者などに対して、「違いを共に生きる」の理念に基づき、尊敬と人権尊重の精神を有し、日常的な生活においても、こうした精神を実践できるような人間性を有していること。
- ③新しい知識や技能の習得に積極的で勉強熱心であり、科学的思考力、論理的思考力、実践的行動力を習得しているか、それらを新たに習得することに積極的であること。
- ④人間関係において、適切な自尊感情を有するとともに、他者を尊重し、良好な関係を築くことのできるコミュニケーション能力を習得していること。あるいは、それらを新たに向上させることに積極的であること。

●医療貢献学科 言語聴覚学専攻

①学生に期待すること

言語聴覚士の国家資格をめざす強い意思を持ち、専門領域を学ぶ意欲と情熱を持つことを期待する。

②学生募集に際して重視すること

自己表現力、読解力、作文能力、論理的思考力を身に付けていることと、豊かなコミュニケーション能力を身に付けていることが重要と考える。

③入学前学習として推奨すること

以下のことを通して言語聴覚士の職務内容などについて情報を得、自らの関心について自覚することが望まれる。

- ・オープンキャンパスへの参加、言語聴覚士の職場見学、ボランティア活動
- ・書籍やマスメディアを用いた言語聴覚障がいに関する情報収集

●医療貢献学科 視覚科学専攻

①学生に期待すること

視覚の研究を通して科学的思考と問題解決の方法論を習得するとともに、医療にふれる中で健康への安心と人への温かくかつ真面目な姿勢を養い、社会の現場において自己実現をするとともに信頼される人材となることを期待する。

②学生募集に際して重視すること

本専攻では医療職である視能訓練士の資格取得も目的の一つである。医療職に求められる健康科学への関心と、コミュニケーション能力を重視する。

③入学前学習として推奨すること

日本語能力を含む基礎学力の充実と、広い分野の読書を推奨する。また、ボランティア活動の経験も推奨する。

●医療貢献学科 理学療法学専攻

①学生に期待すること

理学療法士の国家資格取得に向けて、専門領域の知識・技能を学ぶ意欲を持ち、医療や福祉に関する幅広い知見と高い倫理観を有する人材となることを期待する。

②学生募集に際して重視すること

医療職に求められる高い倫理観と健康科学への関心と、読解力、作文能力、論理的思考力、コミュニケーション能力を重視する。

③入学前学習として推奨すること

日本語能力を含む基礎学力の充実と、種々のメディアを活用したグローバルな情報収集能力とボランティア活動を通じた行動力の養成を推奨する。

●医療貢献学科 臨床検査学専攻

①学生に期待すること

臨床検査技師の国家資格取得に向けて、専門領域の知識・技能を学ぶ意欲を持ち、保健・医療・福祉に関する幅広い知見をもとに他者と協働し、医療や医学研究・教育を通して社会へ貢献する人材となろうとする意欲を持つことを期待する。

②学生募集に際して重視すること

保健・医療・福祉を中心とした人間や社会への関心と、読解力、作文能力、論理的思考力、コミュニケーション能力、積極性、自主性を重視する。

③入学前学習として推奨すること

日本語能力を含む基礎学力の充実と、広い分野

の読書やボランティア活動などを通して人間や社会に対する理解を深める活動を推奨する。

●スポーツ・健康医科学科 スポーツ・健康科学専攻

①学生に期待すること

本専攻は、体と心の健康に関する広範な知識を持った生涯健康社会のリーダーの育成を目指している。健康や運動に関する知識だけでなく、社会の動きにも興味を持ち積極的に学ぶ姿勢を持つことを期待する。

②学生募集に際して重視すること

心身の健康に関して学ぶ姿勢、社会情勢についての広い関心を持っていること、さらに、自らの健康だけではなく社会に資するために、他者への配慮を心がけることや円滑なコミュニケーションをはかることも重要だと考える。

③入学前学習として推奨すること

教科書的な知識だけでなく、書籍やマスメディアからも広く健康・スポーツ・社会に関して学んでおくことが望まれる。

●スポーツ・健康医科学科 救急救命学専攻

①学生に期待すること

本専攻は、救急救命の専門知識および実践力を身につけ、医療と地域社会の課題解決に貢献できる質の高い救急救命士を育成することを目指している。救急医療に関する知識だけでなく、国内外の社会情勢等にも積極的に興味を持ち、見聞を広め学ぶ姿勢を持つことを期待する。

②学生募集に際して重視すること

生命を守り、社会に貢献したいという強い信念を持っていること。さらに、救急救命士の資格を取得し、消防、自衛隊、海上保安庁、警察等の地方・国家公務員、医療機関等で活躍したいという強い意欲があることも重要であると考えている。

③入学前学習として推奨すること

救急救命士として求められる知識や技術を身につけるために、基礎的な学力を有するための事前学習が望まれる。また、メディアや書籍を通して社会や健康に関して広く学んでおくことが推奨される。

食健康科学部

本学部は、食健康科学の知識を有し、「食」と「栄養」の専門家として食品分野や健康分野の現場で活躍する人材の養成を目指している。この目標を達成するために、入学者には次の点を期待する。

①学生に期待すること

健康維持や疾病予防における食と栄養の係わりに関して高い関心を有し、将来、「食」と「栄養」の専門家として社会に貢献する強い意志を有していること。

②学生募集に際して重視すること

「食」と「栄養」に関する新しい知識や技能の修得

に積極的で向学心が高く、科学的思考力、論理的思考力を修得することに積極的であること。

③入学前学習として推奨すること

人間関係において、他者を尊重し、良好な関係を築くことのできるコミュニケーション能力を有していること、あるいは、それらを修得し、向上させることに積極的であること。

●健康栄養学科

①学生に期待すること

「栄養」、「食」の科学に関する学修・研究を通して科学的思考と問題解決の方法論を修得すると共に、管理栄養士の現場にふれる中で保健・医療・福祉への関心と豊かな人間性を養い、社会の現場において自己実現できる人材となることを期待する。

②学生募集に際して重視すること

保健・医療・福祉に関して高い関心と真摯に学ぶ姿勢、社会情勢や当該分野に関連する様々な事象に対して向学心を持っていること、さらに、自らの健康だけでなく、社会に資するために他者への配慮を心掛けることや円滑なコミュニケーション能力を持っていることも重要である。

③入学前学習として推奨すること

高等学校で学ぶ生物、化学の基礎的な知識を身に付けておくことに加え、「健康」、「栄養」、「食」に関する分野の図書や雑誌、新聞記事などを読んでおくこと。

●食創造科学科

①学生に期待すること

食健康科学に関する学修・研究を通して科学的思考と問題解決の方法論を修得すると共に、創造性や先見性を有した食創造力を持って食産業、健康産業に貢献する人材となることを期待する。

②学生募集に際して重視すること

「食」と「栄養」に関する専門知識と創造性に関して高い関心と真摯に学ぶ姿勢を有し、「食」や「健康」に関連する様々な事象に対して向学心を持っていること、さらに、社会に資するために他者への配慮を心掛けることや円滑なコミュニケーション能力を持っていることも重要である。

③入学前学習として推奨すること

高校卒業レベルの基礎的な知識だけでなく、図書や、雑誌、新聞記事などのマスメディアから、「食」、「栄養」、「健康」に関する分野の知識を意欲的に吸収し、自ら考える習慣を身に付けていることが望まれる。

福祉貢献学部

福祉貢献学部は、福祉マインドを培い、福祉的な思考と実践力を身に付け、社会福祉、及び子ども福祉分野で活躍したいと希望する学生を求める。

●福祉貢献学科 社会福祉専攻

①学生に期待すること

社会福祉の仕事に関心を持ち、人間や社会について広い視野に立って学ぶとともに、福祉現場での実習や地域活動に主体的に取り組み、実践力を育てることを期待する。

②学生募集に際して重視すること

様々な人々と関わり援助することに前向きに取り組む姿勢や肯定的な人間関係を育む能力を有すること。また、大学での学びの基盤となる高校等での学習習慣と基礎学力が養われていることを重視する。

③入学前学習として奨励すること

社会福祉の専門職は、人の生活に直面しなければならない。メディア等を通じて生活問題や社会福祉の動向に関心を持ち、考える習慣を身につける。また、様々な活動に参加し、主体的な行動力と安定した社会性を培う。

●福祉貢献学科 子ども福祉専攻

①学生に期待すること

保育士や幼稚園教諭の仕事に関心を持ち、必要な専門的知識や技術の習得に取り組むこと。人間形成に関わる仕事の重要性を自覚し、個性豊かな保育者をめざして努力することを期待する。

②学生募集に際して重視すること

子どもの成長を援助することに前向きに取り組む姿勢や、肯定的な人間関係を育む能力を有すること。また、大学での学びの基盤となる高校等での学習習慣と基礎学力が養われていることを重視する。

③入学前学習として奨励すること

保育士や幼稚園教諭など子どもの育ちや子育てを支援する専門職には、寛容な人間性と多様な能力が要求される。様々な活動に参加し、主体的な行動力と安定した社会性を培うこと。また、子どもや家庭を取り巻く社会の動向にも目を向ける。

交流文化学部

●交流文化学科 ランゲージ専攻

①学生に期待すること

ランゲージ専攻では、しっかりとした日本語力を基礎に様々な言語や文化の知識そしてコミュニケーション能力の修得を通して、国際社会で活躍したいと考える学生の入学を期待している。

②学生募集に際して重視すること

次のことに関心を持ち、個性を伸ばし、自らを磨いて国際協力そして社会の発展に貢献していこうとする意欲のある人を歓迎する。

(1)幅広い視野から異文化を理解する力を身につけたい人。

(2)文化に関する知識、および多言語活用能力をはじめとする異文化コミュニケーション能力の向上を目指す人。

- (3) 外国語を使用したスピーチ、ライティング、演劇など自己表現、また言語を教育する力を身につけたい人。

③入学前学習として推奨すること

- (1) 世界の言語・文化への関心を持ち、自らの基礎的なコミュニケーション能力の向上に努める。
(2) 言葉を使用して自らを表現する一方、他の人の自己表現から学ぶ態度を養う。
(3) 自らの母語である日本語の知識とスキルを伸ばす。
(4) お互いを理解・尊重し合い、他人の喜びを共に喜び合える態度を養う。

●交流文化学科 観光専攻

①学生に期待すること

観光専攻では、産業や政策、地域、人材など、現代の観光を取り巻く環境を多方面からとらえ、持続可能な社会の発展や課題解決に貢献しようとする意志とビジョンを持つ学生の入学を期待している。

②学生募集に際して重視すること

次のことに関心を持ち、個性を伸ばし、自らを磨いていこうという意欲のある人を歓迎する。

- (1) 幅広い視野から観光や観光を取り巻く文化や社会を理解する力を身につけたい人。
(2) 好奇心を持って自らの想像力を広げ、物事を探究する力や主体的に行動する力を育み、社会に貢献する力を身につけたい人。
(3) ホスピタリティ精神を培い、学び取った知識・経験・実践的スキルを社会に還元する意欲を持つ人。

③入学前学習として推奨すること

- (1) 広い視野から現代の観光を眺めるため、地域や国を超えた人の交流や世の中の出来事にたえず関心を持ち、情報収集力を身につける。
(2) 言語・社会・文化への関心を持ち、観光分野に求められる基礎的なコミュニケーション能力の向上に努める。
(3) ささいなことにも関心を持ち、実際に自らの目で物事を見つめる好奇心・探求心を養う。
(4) お互いを理解・尊重し合い、ホスピタリティ精神を築き、他人の喜びを共に喜び合える態度を養う。

ビジネス学部

●ビジネス学科

ビジネス学部は、国内外のビジネスの現場で能力を発揮することを通じて、社会の発展に貢献する人材を育てる。1) さまざまな職種・業種で役に立つ知識やスキル、2) 直面する問題を解決するための論理的な思考力や判断力、3) 組織の目標を達成するための協調性やリーダーシップ——これらを身につけたい人の入学を求める。

①学生に期待すること

ビジネス学部は、グループワーク、産学連携プロジェクトなどアクティブラーニングによる実践的な授業を多く開講しているほか、国内外のインターンシップ研修などもカリキュラムに取り入れている。このような授業に参画することを通じて、ビジネスの現場で必要となるさまざまな能力を身につけたいと考える人を歓迎する。

②学生募集に際して重視すること

ビジネス学部では、ビジネスの現場で能力を発揮する人材になりたいという積極的な姿勢に加え、アクティブラーニングにおいて必要となる行動力、多様な考え方と向き合うコミュニケーション能力を重視する。

③入学前学習として推奨すること

政治・経済など国内外の動きについて、新聞・テレビ・インターネットなどを通じて広く関心を持つことが大事である。また、重要なニュースや国際情勢については、自分の考えや意見を持つように心がける。国語・英語・数学など主要科目の基礎学力は学修の基盤となる。

グローバル・コミュニケーション学部

●グローバル・コミュニケーション学科

グローバル・コミュニケーション学部は、英語で考え、英語で情報を発信し、行動する、人・地域・世界の架け橋となる「地球市民」の育成を目標とした学部であり、「実用的な英語コミュニケーション能力を身に付けたい」「英語を使った仕事に就きたい」という学生を求める。

①学生に期待すること

グローバル社会に求められる地球市民になるためには、高度な英語コミュニケーション能力とともに、幅広い教養も必要である。学生には、世界と日本の社会や文化、人間コミュニケーション、グローバルな課題などに関心を持ち積極的に学ぶ姿勢を期待する。

②学生募集に際して重視すること

高度なコミュニケーション能力は、受動的な姿勢で身に付くものではない。すべての学部専門科目が英語のみで開講されるAll Englishの環境のもと、主体的に学ぼうとする意欲と姿勢を重視する。

③入学前学習として推奨すること

高等学校までの英語の学習内容を十分に理解し、定着させておくことが、大学入学後の高度で実践的な英語コミュニケーション能力修得の基礎となる。新聞・書籍・インターネット・テレビなどを通じて、グローバルなトピックに常に関心向けることも重要である。

1 募集人員・入試日程・出願資格・出願書類・入学検定料

特別選抜入試（社会人）

募集人員

学部	学科・専攻		募集人員
文学部	国文学科		若干名
教育学部	教育学科		若干名
人間情報学部	人間情報学科	感性工学専攻	若干名
		データサイエンス専攻	若干名
		数学・情報教員養成専攻	若干名
心理学部	心理学科		若干名
創造表現学部	創造表現学科	創作表現専攻	若干名
		メディアプロデュース専攻	若干名
建築学部	建築学科	建築・まちづくり専攻	若干名
		住居・インテリアデザイン専攻	若干名
健康医療科学部	医療貢献学科	言語聴覚学専攻	若干名
		視覚科学専攻	若干名
		理学療法学専攻	若干名
		臨床検査学専攻	若干名
	スポーツ・健康医科学科	スポーツ・健康科学専攻	若干名
		救急救命学専攻	若干名
食健康科学部	健康栄養学科		若干名
	食創造科学科		若干名
福祉貢献学部	福祉貢献学科	社会福祉専攻	若干名
		子ども福祉専攻	若干名
交流文化学部	交流文化学科	ランゲージ専攻	若干名
		観光専攻	若干名
ビジネス学部	ビジネス学科		若干名
グローバル・コミュニケーション学部	グローバル・コミュニケーション学科		若干名

入試日程

出願期間	2025年11月4日(火)～11月10日(月) 締切日消印有効
受験票の取得	2025年11月17日(月)10:00～(P. 21参照)
試験日	2025年11月29日(土)
試験会場	星が丘キャンパス (P. 23参照)
合格発表日	2025年12月9日(火) インターネットによる合否照会のみ(合格通知書は発送しません) 〈合否照会可能期間(P.24参照)〉 2025年12月9日(火)10:00～12月15日(月)23:59
合格通知書／振込依頼票／ 入学手続要項の印刷	2025年12月9日(火)10:00～2026年3月31日(火)23:59 ※郵送はしませんので、各自印刷してください (P. 24参照)。
入学手続時納入金 締切日	第1次手続 2025年12月16日(火) ※マイページから振込依頼票を印刷し、使用してください。
	第2次手続 2025年12月23日(火) ※マイページから振込依頼票を印刷し、使用してください。

※特別選抜入試と同日に実施される「編入学試験」「グローバル入試」には、出願できません。

■ 出願資格

本学のアドミッション・ポリシーを十分に理解し、次の①～④のいずれかに該当する者（社会人としての職歴は問わない）で、かつ㊦、㊧を満たす者

- ① 高等学校もしくは中等教育学校を卒業後、2026年4月1日現在、4年以上経過している者
- ② 通常の課程による12年の学校教育（特別支援学校の高等部または高等専門学校の3年次）を修了後、2026年4月1日現在、4年以上経過している者
- ③ 高等学校卒業程度認定試験または大学入学資格検定の合格者および定時制・通信制高等学校卒業者で2026年4月1日現在、22歳以上の者
- ④ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2026年4月1日現在、22歳以上の者

㊦ 本学での勉学を強く志望し、第1志望として入学を志す者

㊧ 出願時に大学・短期大学・高等専門学校等に在籍していない者

※アドミッション・ポリシーは、表紙裏面とP.1～P.6を参照してください。

■ 出願書類

書類は、志願者本人が消えないインクの黒ボールペンで記入する。

提出書類		様式および記入上の注意
1	インターネット出願確認票	出願登録完了後、A4サイズで印刷する(P.17「インターネット出願」参照)
2	志望理由書	本学所定用紙（様式A-1） ・志望する学科・専攻への志望理由と入学後の目標、大学生活への抱負などについて、1枚目に箇条書きにし、2枚目に600字以内の文章でまとめる。
3	高等学校卒業証明書または中等教育学校卒業証明書	出身高等学校または中等教育学校作成のもの ・高等学校卒業程度認定試験または大学入学資格検定の合格者は「合格証明書」
4	自己アピール書	本学所定用紙（様式A-2） ・社会人としての活動状況をふまえた自己アピール、社会活動をとおして取り組んだ事項について、1,500字以内の文章でまとめる。 ・自己をアピールできる資料等（コピー可）があれば添付する。
5	履歴書・社会活動経歴書	本学所定用紙（様式A-3）

※提出された出願書類等は返還しません。

※証明書等の氏名が出願時と異なる場合は、改姓・改名の事項が記載された公的証明書（戸籍抄本等）の原本を提出してください。

■ 入学検定料

25,000 円

特別選抜入試（海外帰国生）

■ 募集人員

学部	学科・専攻		募集人員
文学部	国文学科		若干名
教育学部	教育学科		若干名
人間情報学部	人間情報学科	感性工学専攻	若干名
		データサイエンス専攻	若干名
		数学・情報教員養成専攻	若干名
心理学部	心理学科		若干名
創造表現学部	創造表現学科	創作表現専攻	若干名
		メディアプロデュース専攻	若干名
建築学部	建築学科	建築・まちづくり専攻	若干名
		住居・インテリアデザイン専攻	若干名
健康医療科学部	医療貢献学科	言語聴覚学専攻	若干名
		視覚科学専攻	若干名
		理学療法学専攻	若干名
		臨床検査学専攻	若干名
	スポーツ・健康医科学科	スポーツ・健康科学専攻	若干名
		救急救命学専攻	若干名
食健康科学部	健康栄養学科		若干名
	食創造科学科		若干名
福祉貢献学部	福祉貢献学科	社会福祉専攻	若干名
		子ども福祉専攻	若干名
交流文化学部	交流文化学科	ランゲージ専攻	若干名
		観光専攻	若干名
ビジネス学部	ビジネス学科		若干名
グローバル・コミュニケーション学部	グローバル・コミュニケーション学科		若干名

■ 入試日程

出願期間	2025年11月4日(火)～11月10日(月) 締切日消印有効	
受験票の取得	2025年11月17日(月)10:00～(P.21参照)	
試験日	2025年11月29日(土)	
試験会場	星が丘キャンパス (P.23参照)	
合格発表日	2025年12月9日(火) インターネットによる合否照会のみ(合格通知書は発送しません) 〈合否照会可能期間(P.24参照)〉 2025年12月9日(火)10:00～12月15日(月)23:59	
合格通知書／振込依頼票／ 入学手続要項の印刷	2025年12月9日(火)10:00～2026年3月31日(火)23:59 ※郵送はしませんので、各自印刷してください (P.24参照)。	
入学手続時納入金 締切日	第1次手続	2025年12月16日(火) ※マイページから振込依頼票を印刷し、使用してください。
	第2次手続	2025年12月23日(火) ※マイページから振込依頼票を印刷し、使用してください。

※特別選抜入試と同日に実施される「編入学試験」「グローバル入試」には、出願できません。

■ 出願資格

本学のアドミッション・ポリシーを十分に理解し、次の①～③のすべてを満たす者

① 日本国籍を有する者（「永住者」および「特別永住者」を含む）で、国内外を問わず学校教育における12年以上の課程を修了した者（2026年3月31日までに修了見込みの者を含む）または、本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2026年3月31日までに18歳に達する者。ただし、本学の教育を受けるに足る十分な日本語能力を有すること。

② 外国における修学年数が、次の(1)、(2)のいずれかに該当する者

- (1) 外国の中等教育機関に最終学年を含み継続して2学年以上在学し、2024年4月1日から2026年3月31日までに卒業または卒業見込みの者
- (2) 外国の中等教育機関に継続して2学年以上在学し、帰国後、日本の高等学校に編入し、2026年3月31日までに卒業または卒業見込みの者（ただし、外国の中等教育機関の最終在籍日が2024年4月1日以降に限る）

③ 次の外国語検定試験のいずれかの基準を満たす者

実用英語技能検定（方式問わず）準1級以上、TOEIC Listening & Reading Test（IPテストは不可）500点以上、TOEFL iBT 48点以上、IELTS〈アカデミック・モジュール〉（方式問わず）4.5以上、GTEC（CBTタイプ、検定版）1000点以上※オフィシャルスコアに限る、HSK 4級以上、「ハングル」能力検定試験 2級以上、韓国語能力試験 3級以上

注1）外国に設置された高等学校で、日本の学校教育法に準拠した教育を実施している学校（在外教育施設）に在籍した者については、その期間を外国において学校教育を受けた期間とはみなさない。

注2）日本に設置されているインターナショナルスクール、ブリティッシュスクール、アメリカンスクール等の外国の高等学校に在籍した者については、その期間を外国において学校教育を受けた期間とはみなさない。

※アドミッション・ポリシーは、表紙裏面とP.1～P.6を参照してください。

■ 出願書類

書類は、志願者本人が消えないインクの黒ボールペンで記入する。

提出書類		様式および記入上の注意
1	インターネット出願確認票	出願登録完了後、A4サイズで印刷する(P.17「インターネット出願」参照)
2	志望理由書	本学所定用紙（様式B-1） ・志望する学科・専攻への志望理由と入学後の目標、大学生活への抱負などについて、1枚目に箇条書きにし、2枚目に600字以内の文章でまとめる（日本語で記入する）。
3	高等学校の卒業証明書（卒業見込証明書）	卒業見込証明書は、出願前6か月以内に発行されたもの ・日本の高校を卒業する場合は、調査書に記載があれば不要。
4	高等学校の学業成績証明書	・高等学校全期間(各学年ごと) ・卒業見込みの者は、出願前6か月以内に発行されたもの ・複数の学校に在籍した者は、それぞれ在籍したすべての高等学校から直接発行された成績証明書(日本の高校に在籍している場合は調査書)を提出する。 ただし、最終の高等学校でそれまでの成績が認定され、3年間すべての学期の成績が記載されている場合はその成績証明書だけでよい。
5	自己アピール書	本学所定用紙（様式B-2） ・自分自身を特にアピールできる事項について、日本語で1,500字以内の文章でまとめる。 ・自己をアピールできる資料等(コピー可)があれば添付する。

(次ページに続く)

6	身上記録書	本学所定用紙（様式B-3）
7	外国語検定試験の成績を証明するもののコピー	・コピーはA4サイズとする。 ・以下のいずれかの成績であることを確認する。 実用英語技能検定(方式問わず) 準1級以上 TOEIC Listening & Reading Test (IPテストは不可) 500点以上 TOEFL iBT 48点以上 IELTS〈アカデミック・モジュール〉(方式問わず)4.5以上 GTEC(CBTタイプ、検定版) 1000点以上 *オフィシャルスコアに限る HSK 4級以上 「ハングル」能力検定試験 2級以上 韓国語能力試験 3級以上

〈提出書類についての注意〉

- ・日本語または英語で作成されたものを提出してください。日本語・英語以外で記載されている場合は、翻訳証明（出身学校、公的機関、翻訳機関等で証明をうけたもの）を添付してください。
- ・原本が 1 部しかないものや再発行できないもの（卒業証明書や成績証明書等）は、原本証明がなされた複写（コピー）を提出してください。
 ※原本証明（Certified True Copy）とは、原本から正しく複製されたものであることを出身の高等学校が証明し、機関印を押印したものです。
 ※出身の学校等で原本証明を受けることができない場合には、提出する前にアドミッションセンターまで問い合わせてください。
- ・提出された出願書類等は返還しません。
- ・証明書等の氏名が出願時と異なる場合は、改姓・改名の事項が記載された公的証明書（戸籍抄本等）の原本を提出してください。

■ 入学検定料

25,000 円

特別選抜入試（外国人留学生）

■ 募集人員

学部	学科・専攻		募集人員
文学部	国文学科		若干名
教育学部	教育学科		若干名
人間情報学部	人間情報学科	感性工学専攻	若干名
		データサイエンス専攻	若干名
		数学・情報教員養成専攻	若干名
心理学部	心理学科		若干名
創造表現学部	創造表現学科	創作表現専攻	若干名
		メディアプロデュース専攻	若干名
建築学部	建築学科	建築・まちづくり専攻	若干名
		住居・インテリアデザイン専攻	若干名
健康医療科学部	医療貢献学科	言語聴覚学専攻	若干名
		視覚科学専攻	若干名
		理学療法学専攻	若干名
		臨床検査学専攻	若干名
	スポーツ・健康医科学科	スポーツ・健康科学専攻	若干名
		救急救命学専攻	若干名
食健康科学部	健康栄養学科		若干名
	食創造科学科		若干名
福祉貢献学部	福祉貢献学科	社会福祉専攻	若干名
		子ども福祉専攻	若干名

※交流文化学部、ビジネス学部、グローバル・コミュニケーション学部については、グローバル入試〔外国人留学生（一般）〕の入学試験要項をご確認ください。

■ 入試日程

事前の出願資格確認期限	2025年10月3日（金）締切	
出願期間	2025年11月4日（火）～11月10日（月） 締切日消印有効	
受験票の取得	2025年11月17日（月）10:00～（P. 21参照）	
試験日	2025年11月29日（土）	
試験会場	星が丘キャンパス（P. 23参照）	
合格発表日	2025年12月9日（火）インターネットによる合否照会のみ（合格通知書は発送しません） 〈合否照会可能期間（P.24参照）〉 2025年12月9日（火）10:00～12月15日（月）23:59	
合格通知書／振込依頼票／ 入学手続要項の印刷	2025年12月9日（火）10:00～2026年3月31日（火）23:59 ※郵送はしませんので、各自印刷してください（P. 24参照）。	
入学手続時納入金 締切日	第1次手続	2025年12月16日（火） ※マイページから振込依頼票を印刷し、使用してください。
	第2次手続	2025年12月23日（火） ※マイページから振込依頼票を印刷し、使用してください。

※特別選抜入試と同日に実施される「編入学試験」には、出願できません。

■ 出願資格

本学のアドミッション・ポリシーを十分に理解し、次の①、②のいずれかに該当する者で、かつ㊦～㊷のすべてを満たす者

- ① 外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者および 2026 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- ② 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者および 2026 年 3 月 31 日までにこれに該当する見込みのある者（2026 年 3 月 31 日までに 18 歳に達する者）
- ㊦ 外国の国籍を有する者（日本の「永住者」および「特別永住者」として許可された者を除く）
- ㊧ (独)国際交流基金と(公財)日本国際教育支援協会が主催する「日本語能力試験(JLPT)」N1 に合格または(独)日本学生支援機構が実施する「日本留学試験(EJU)」*の「日本語」科目において読解、聴解・聴読解 250 点以上および記述 35 点以上得点した者
※対象とする「日本留学試験」は 2024 年度第 2 回（11 月実施）、2025 年度第 1 回（6 月実施）です。
- ㊷ 本学での勉学を強く志望し、第 1 志望として入学を志す者

※アドミッション・ポリシーは、表紙裏面と P.1～P.6 を参照してください。

事前の出願資格確認

出願を希望する者は、出願資格確認期間内(2025年10月3日(金)締切)に必要な書類を提出し、出願資格の確認をおこなってください。確認をおこなっていない者は、出願することができません。

1. 出願資格確認手続き

提出書類をそろえて、すべての書類を①、②の手順で提出してください。提出書類は以下を確認してください。

① メールに添付して送信(PDF ファイル)

全ての書類を PDF で以下のメールアドレスに送付してください。

メールアドレス : asu_globaldoc@asu.aasa.ac.jp



② 郵送にて送付

PDF での提出書類を確認後、提出先を連絡します。国内からの場合は「簡易書留」(封筒は任意)、海外からの場合は EMS や DHL 等、速達で配達状況が確認できる国際郵便または国際宅配便を利用して送ってください。

書類は、消えないインクの黒ボールペンで記入する。

提出書類		様式および注意事項
1	提出書類チェックリスト	本学所定用紙（様式①C-1）
2	事前出願資格確認申請書	本学所定用紙（様式①C-2）
3	高等学校の卒業証明書（卒業見込証明書）の原本 【コピー不可】	・卒業見込証明書は、出願資格確認前 6 か月以内に発行されたもの
4	高等学校の学業成績証明書の原本 【コピー不可】	・高等学校全期間(各学年ごと) ・卒業見込みの者は、出願資格確認前 6 か月以内に発行されたもの ・複数の高等学校に在籍した場合は、転入学、退学等の年月日が記された成績証明書を提出する。

(次ページに続く)

5	高等学校の教育内容などを証明できるもののコピー	学則、カリキュラム、修業年限、授業時間数、授業科目、必要単位数等が明記されたものを提出する。
6	パスポートのコピー	本学所定用紙（様式C-3） ・パスポート（写真が貼られているページ）をコピーし、 本学所定用紙（様式C-3） に貼付し、提出する。
7	在留カードのコピー	・コピーはA4サイズとする。 ・両面をコピーし、提出すること。 ※所持者のみ。
8	日本語能力に関する書類のコピー	本学所定用紙（様式C-4） ・下記のいずれかをコピーし、 本学所定用紙（様式C-4） に貼付のうえ、提出する。 ➤「日本語能力試験（JLPT）」N1の日本語能力認定書のコピー ➤「日本留学試験（EJU）」の受験票（または成績確認書）のコピー ※出願後の変更はできません。 <注意事項> ➤「日本語能力試験（JLPT）」N1の日本語能力認定書のコピーを提出する場合 ・本学より実施団体へ真偽確認の依頼をする場合があります。これに同意のうえ、提出してください。 ➤「日本留学試験（EJU）」の受験票（または成績確認書）のコピーを提出する場合 ・対象の日本留学試験は下記の通りです。 2024年度 第2回日本留学試験（2024年11月実施） 2025年度 第1回日本留学試験（2025年6月実施） ・「日本語」科目において読解、聴解・聴読解 250 点以上および記述 35 点以上であることを確認してください。 ・記載されている氏名と、その他の出願書類の氏名が一致していることを確認してください。 ・本学より実施団体へ成績請求をおこないます。
9	経費支弁書	本学所定用紙（様式C-5） ・この書類には経費支弁者の経費支弁能力を証明できる書類（次頁、「10 経費支弁関係書類」を参照する）をすべて添付すること。

（次ページに続く）

10	経費支弁関係書類 【コピー不可】	出願者の申請する経費支弁方法（以下ア～ウ）に従って必要な書類を提出すること。 <u>ア. 出願者本人が経費を支弁する場合</u> ①出願者名義の預金残高証明書（金融機関発行の原本） 残高額は、4年間の学費および1年間の生活費相当額（額面500万円以上）を支弁できることを証明すること。 ※出願者本人が経費支弁者となる場合は、出願時において20歳以上で、就業等の社会経験を有し、在学中の学費を納める資力があると判断できる者であること（この場合の就業等にアルバイトは含まない）が必要になります。 <u>イ. 本国からの送金によって経費を支弁する場合（①～④すべての書類を提出すること）</u> ①経費支弁者名義の預金残高証明書（金融機関発行の原本） 残高額は1年間の学費および生活費相当額（額面200万円以上）を支弁できることを証明できるもの（例：預金者、預金証書番号、および預金額が確認できる資料）。 ②経費支弁者の直近1年間の収入証明書（経費支弁者の所属する機関が発行したもの） ※ ただし、国税庁または税務署から発行された年収証明書（Certificate of Income）の提出も可とする。 ③経費支弁者の在職証明書（経費支弁者の所属する機関が発行したもの） ※自営業の場合は、本国における事業登録や営業許可等に関する証明書を提出してください。 ④経費支弁者と出願者の関係を説明する文書 a. 経費支弁者と出願者が親族関係にある場合 親族関係を立証できる証明書を提出する。 b. 経費支弁者と出願者が親族関係にない場合 経費支弁者を引受けた経緯および経費支弁者と出願者の関係を具体的に記述した文書を提出する。様式は自由。 ただし、経費支弁者の署名があること。 <u>ウ. 出願者以外の日本に居住する者が経費を支弁する場合（①～④すべての書類を提出すること）</u> ①経費支弁者の預金残高証明書（金融機関発行の原本） 残高額は1年間の学費及び生活費相当額（額面200万円以上）を支弁できることを証明すること。 ②経費支弁者の収入を証明する書類 収入を証明する書類は、次のいずれかとする（前年の収入が記載されたもの）。 a. 市町村発行の所得証明書または所得課税証明書（課税証明書および納税証明書も可） b. 確定申告書の写し c. 源泉徴収票の写し ③経費支弁者の在職証明書（経費支弁者の所属する機関が発行したもの） ※自営業の場合は「代表者事項証明書」、「登記事項証明書」、「登記簿謄本」等を提出してください。 ④経費支弁者と出願者の関係を説明する文書 a. 経費支弁者と出願者が親族関係にある場合 親族関係を立証できる証明書を提出する。 b. 経費支弁者と出願者が親族関係にない場合 経費支弁者を引受けた経緯および経費支弁者と出願者の関係を具体的に記述した文書を提出する。様式は自由。 ただし、経費支弁者の署名があること。
----	------------------	---

〈提出書類についての注意〉

- ・日本語または英語で作成されたものを提出してください。日本語・英語以外で記載されている場合は、翻訳証明（出身学校、公的機関、翻訳機関等で証明をうけたもの）を添付してください。
- ・原本が 1 部しかないものや再発行できないもの（卒業証明書や成績証明書等）は、原本証明がなされた複写（コピー）を提出してください。
 ※原本証明（Certified True Copy）とは、原本から正しく複製されたものであることを出身の高等学校や日本語学校等が証明し、機関印を押印したものです。
 ※出身の学校等で原本証明を受けることができない場合には、提出する前にアドミッションセンターまで問い合わせてください。
- ・提出された出願書類等は返還しません。
- ・証明書等の氏名が出願時と異なる場合は、改姓・改名の事項が記載された公的証明書（戸籍抄本等）の原本を提出してください。

2. 出願資格確認結果について

出願資格確認結果については、全員にメール添付もしくは郵送で通知します。出願資格が認められた者には、「愛知淑徳大学出願資格認定書」を発行します。

入学時には「留学」ビザが必要です。入学までに在留資格の申請や在留期間更新の手続きが必要な者は、「留学」ビザ取得・更新のために必要な書類を P.25 で確認してください。なお、「留学」ビザが取得できなかった場合は、入学資格を失います。

■ 出願書類

書類は、志願者本人が消えないインクの黒ボールペンで記入する。

提出書類		様式および記入上の注意
1	インターネット出願確認票	出願登録完了後、A4サイズで印刷する(P.17「インターネット出願」参照)
2	志望理由書	本学所定用紙（様式C-6） ・志望する学科・専攻への志望理由と入学後の目標、大学生活への抱負などについて、1枚目に箇条書きにし、2枚目に600字以内の文章でまとめる（日本語で記入する）。
3	自己アピール書	本学所定用紙（様式C-7） ・自分自身を特にアピールできる事項について、日本語で1,500字以内の文章でまとめる。 ・自己をアピールできる資料等（コピー可）があれば添付する。
4	身元保証書	本学所定用紙（様式C-8）
5	出願資格認定書のコピー	—

※提出された出願書類等は返還しません。

■ 入学検定料

25,000 円

2 インターネット出願

出願の流れ ※詳細は次ページ以降を参照してください。

1. 事前準備

- ☐ パソコン環境の準備
- ☐ プリンターの準備
- ☐ メールアドレスの準備
- ☐ 証明写真(顔写真)データの準備
- ☐ 角形2号封筒の準備
- ☐ 出願書類の準備

2. マイページの作成

インターネット出願システム

2025年8月26日(火) 9:00より入力可能

- ☐ メールアドレスの登録
- ☐ 個人情報の登録
- ☐ 証明写真(顔写真)の登録

3. 出願登録

インターネット出願システム

出願初日9:00より入力可能

- ☐ 入試方式、出願学科・専攻等の登録

4. 「インターネット出願確認票」等の印刷

インターネット出願システム

- ☐ インターネット出願確認票の印刷
- ☐ 宛名ラベルの印刷

5. 入学検定料の納入

インターネット出願システム

- ☐ 入学検定料の納入

この段階では出願はまだ完了していません

6. 出願書類の郵送

- ☐ 出願書類・封筒をそろえる
- ☐ 郵便局窓口から「速達・簡易書留」で郵送

出願手続完了

7. 受験票の取得

インターネット出願システム

- ☐ インターネット出願システム(マイページ)から取得する
 - 受験票は郵送されません。
 - 試験当日は、必ず印刷した受験票を持参してください。

インターネット出願システム

詳細はインターネット出願システムのガイダンスページを参照してください。
ガイダンスページ：<https://www.guide.52school.com/guidance/net-aasa>



2025年8月26日(火)9:00から公開予定です。

マイページ内の「STEP3 出願登録」以降は出願初日9:00から手続きが可能になります。

1. 事前準備

(1) パソコン環境の準備

インターネット出願には、インターネットに接続されたパソコン、スマートフォン、タブレット端末等が必要となります。インターネット出願システムのガイダンスページで推奨環境を確認してください。

(2) プリンターの準備

出願にあたって、A4用紙で「インターネット出願確認票」「宛名ラベル」「受験票」を受験者自身で印刷する必要があります。ご使用のパソコンにプリンターが接続されていることを確認してください。自宅にプリンターがない場合は、学校や知人、コンビニエンスストアのプリントサービス等、PDFファイルを印刷できる環境を確認しておいてください。

(3) メールアドレスの準備

マイページの作成にはメールアドレスが必要となります。また、出願の登録確認、入学検定料の入金確認の通知等はすべてメールにて送信されます。必ず受信可能な個人用メールアドレスを準備しておいてください。ドメイン指定受信を設定している場合、「@52school.com」「@asu.aasa.ac.jp」を受信できるよう設定してください。1つのメールアドレスで、複数人の利用はできません。また、受験者1人に対して、必ず1つのメールアドレスを使用してください。

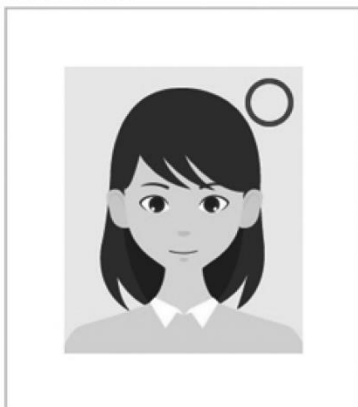
(4) 証明写真(顔写真)データの準備

証明写真(顔写真)は試験当日の本人確認用として使用し、入学後の学生証用写真としても卒業まで使用します。以下の条件を満たす顔写真データ(データ形式: JPEG(拡張子はjpg)、100KB以上、5MB以下)を準備してください。なお、iOS(iPhone等)から登録する場合、「HEIF/HEIC形式(拡張子heif/heic)」でも登録が可能です。証明写真機(写真データのダウンロードや取得ができるもの)、スマートフォンやタブレット端末のカメラ機能、デジタルカメラ等を使用して撮影したものでも構いません。

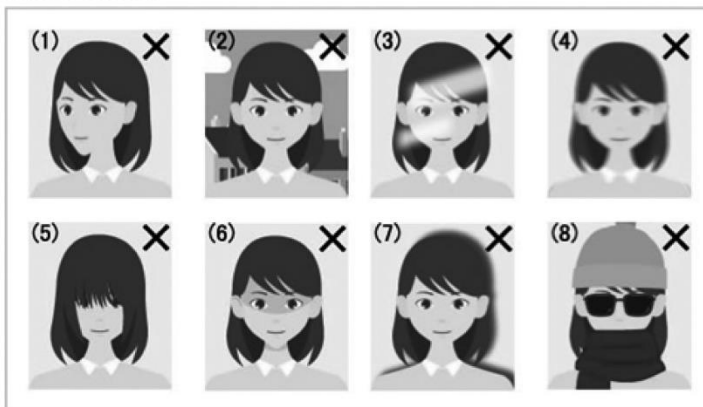
2026年度入試において、すでにインターネット出願登録が完了した証明写真は、変更することはできません。

- ①直近3カ月以内に撮影したもの
- ②カラーのみ可(白黒不可)
- ③上半身・正面、無帽、背景無地(白/青/グレーを基調)、枠なし
- ④本人のみが写っていること
- ⑤私服であること(高等学校等の制服不可)

【適切な写真の例】



【不適切な写真の例】



- (1)正面を向いていない(顔が横向き等)
- (2)無背景でない(風景や物が写っている)
- (3)照明が反射している(顔や眼鏡に光が反射していて一部が見えない)
- (4)ピンボケや手振れにより不鮮明
- (5)前髪が長すぎて目元が見えない
- (6)顔に影がある
- (7)背景に影が写っている
- (8)マフラーやスカーフで輪郭が隠れている

(5)角形2号封筒の準備

出願書類を郵送するために必要です。角形2号サイズ(240mm×332mm)の封筒を準備してください。

(6)出願書類の準備

出願に必要な書類は入試方式により異なりますので、各入試方式の出願書類を確認し、該当する書類を準備してください。

2. マイページの作成 (2025年8月26日 (火) 9:00より入力可能)

下記URL(インターネット出願システムガイダンス)からマイページを作成してログインし、「STEP2 個人情報の登録と確認」より個人情報の登録と証明写真(顔写真)の登録をおこなってください。

<https://www.guide.52school.com/guidance/net-aasa>



※大学WEBサイトからもアクセスできます。

3. 出願登録 (出願初日9:00より入力可能)

下記URL(インターネット出願システムガイダンス)からマイページにログインし、「STEP3 出願登録」より出願登録してください。画面の案内に従って、出願する入試方式、学科・専攻等を選択してください。

<https://www.guide.52school.com/guidance/net-aasa>



※大学WEBサイトからもアクセスできます。

4. 「インターネット出願確認票」等の印刷

出願登録完了後、「インターネット出願確認票」および「宛名ラベル」を印刷(カラー・白黒どちらでも可)し、登録した内容および正しく印刷されていることを必ず確認してください。「インターネット出願確認票」は2部(出願用・本人保管用)印刷し、「宛名ラベル」は出願書類を封入する封筒に貼付してください。

注意

例年、入学検定料納入後、志望学科・専攻等の入力ミスに気づく例があります。入学検定料納入後の入試方式、入試日、志望学科・専攻、科目、試験会場等の変更は一切認められませんので、入学検定料納入前に必ず確認してください。

5. 入学検定料の納入

マイページ「STEP3 出願登録」の登録完了画面より入学検定料のお支払いサイトへ移動後、下記からお支払い方法を選択し、入学検定料を納入してください。支払い完了後は「入学検定料の入金確認の通知」がメールで送信されますのでご確認ください。万が一、メールが届かない場合は出願締切日までに、愛知淑徳大学アドミッションセンターにご連絡ください。支払いの際に発行される領収書(レシート)、受領書またはご利用明細書は、出願書類として提出する必要はありません。大切に保管してください。なお、STEP3の画面を閉じてしまった後は、「STEP4 出願内容の確認」画面より入学検定料のお支払いサイトへ移動し、入学検定料を納入することができます。

<クレジットカード>

カードの名義は、受験者本人でなくても構いません。

出願登録後に別画面で「クレジットカード」支払を選択し、決済を完了してください。

※使用できるクレジットカードは「VISA」「MasterCard」「JCB」「AMERICAN EXPRESS」「Diners Club」のいずれかです。



<コンビニエンスストア>

支払いに必要なお支払い情報を取得後、印刷した「払込票」または各種番号の控えを持参し、以下のコンビニエンスストアで入学検定料を支払います。お支払い情報は、支払いをする際に必要となりますので、必ずメモをとるか印刷してください。

※お支払いは現金のみです。



レジで「インターネット代金支払」または「オンライン決済」であることを店員に伝え、請求内容を確認のうえ、支払ってください。

<銀行ATM(Pay-easy)> <ネットバンキング>



銀行ATMによる支払いは、Pay-easy(ペイジー)に対応した銀行のみで可能です。

ゆうちょ銀行ATM、ペイジー対応銀行のATMおよびネットバンキングがご利用いただけます。

※窓口での支払いはできません。

※コンビニエンスストアに設置されているATMは利用できません。

注意

- ・ 入学検定料の他にサービス利用料(一律990円)が必要となります。
- ・ 複数回に分けて出願登録(STEP3)をする場合は、サービス利用料が各回それぞれに必要となります。
- ・ いったん納入された入学検定料は、返還しません。ただし、「入学検定料を納入したが、出願書類を提出しなかった場合」「入学検定料を納入し出願書類を提出したが、出願が受理されなかった場合」「入学検定料を誤って過剰に納入した場合」に限り、入学検定料(サービス利用料を除く)を返還しますので、アドミッションセンターへ問い合わせてください。

6. 出願書類の郵送

出願書類を市販の角形2号サイズ(240mm×332mm)の封筒に入れ、出願登録完了後にマイページより印刷した「宛名ラベル」を封筒に貼付し、郵便局窓口から「速達・簡易書留」で出願期間内に郵送してください。

＜郵送先＞

〒464-8671 名古屋市千種区桜が丘23
愛知淑徳大学 アドミッションセンター

注意

- ・ 出願後(入学検定料納入後)の入試方式、入試日、志望学科・専攻、科目、試験会場等の変更は、いかなる理由があっても認めません。
- ・ いったん提出された出願書類は、返還しません。
- ・ 郵便局窓口で発行される書留の「受領書」は、必ず保管してください。

7. 受験票の取得

下記URLからマイページにログインし、「オンライン受験票」より
受験票(PDF)を取得してください。受験票の郵送はしません。

<https://exam-entry.52school.com/aasa/my>



※大学WEBサイトからもアクセスできます。

〈取得開始日〉

2025年11月17日(月)10:00

※受験票は2026年4月24日(金)までの公開です。

【受験票】

- (1) 受験票の記載内容を確認し、A4サイズのコピー用紙に印刷のうえ、
試験当日に必ず持参してください。
- (2) 受験票には裏面も含め、一切の書き込みを禁止します。

注意

出願後(入学検定料納入後)の入試方式、入試日、志望学科・専攻、科目、試験会場等の変更は、いかなる理由があっても認めません。

〈受験票サンプル〉

A4判

3 選抜方法・配点

【社会人・海外帰国生・外国人留学生】 書類審査〔50点〕・小論文〔50点〕・個人面接〔50点〕
面接では、志望する学科・専攻のアドミッション・ポリシーが理解できているかについて問うことがあります。

4 受験上の注意

【社会人・海外帰国生・外国人留学生】

1. 試験会場

星が丘キャンパス（P.23参照）

- ・2025年11月28日（金）の15:00から17:00まで試験会場の下見が可能です。ただし、試験室への入室はできません。
- ・試験会場へは、試験当日および前日の下見の際も、公共交通機関を利用してください。送迎を含め、車での来校は固くお断りします。

2. 試験時間割

入室完了時刻	小論文	休憩	入室	面接
12:40	13:00～14:00	14:00～14:20	14:20	14:30～

3. 試験当日の注意

(1) 入退場について

- ①試験会場は12:00から入場することができます。
- ②12:40までに試験室に入室・着席してください。遅刻した場合は、試験開始後20分以内であれば受験できますので、速やかに入室してください。ただし、試験時間は延長しません。
- ③試験開始後の途中退室は認めていません。
- ④携帯電話などは、試験室に入る前に電源を切って、かばんの中に入れてください。
- ⑤試験会場へは、公共交通機関を利用してください。
- ⑥付添の方は、試験会場（キャンパス内）に入ることはできません。

(2) 所持品について

- ①受験票：インターネット出願システム（マイページ）から取得し、A4サイズのコピー用紙に印刷したものを必ず持参してください。
- ②受験上の注意：P.22～P.23の「受験上の注意」は印刷して持参するなど、試験当日も確認できるようにしてください。
- ③時計：試験室には時計がありませんので、各自持参してください。
- ④筆記用具等：詳細は下記を参照してください。

使用できるもの	使用できないもの
・受験票 ・HBの黒鉛筆（英文や和歌・格言などが書かれていないもの） ・鉛筆キャップ ・シャープペンシルと替えの芯 ・消しゴム ・鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類を除く） ・時計 〔辞書や電卓、端末機能があるもの・それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマーや学習タイマー・大型のものを除く〕 ・眼鏡、目薬 ・ハンカチ、ティッシュペーパー（袋から中身だけ取り出したもの）	・電卓 ・定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む） ・コンパス ・携帯電話 ・スマートフォン ・ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等） ・タブレット端末 ・電子辞書 ・ICレコーダー ・電動式鉛筆削り ・下敷き ・耳栓、イヤホン、ヘッドホン
<監督者の許可を得てから使用するもの> ・座布団、クッション ・ひざ掛け（コートをひざ掛けとして使用する場合も含む）	

※上履きは必要ありません。

(3) 解答上の注意

- ①解答用紙には、受験番号、氏名を必ず記入してください。
- ②問題用紙、解答用紙に落丁・乱丁、印刷不鮮明等の不備がある場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。

(4) 試験時間中の注意

- ①試験時間中は、監督者の指示に従ってください。従わない場合は退室させることがあります。
- ②原則として、試験終了まで退室は認めません。体調不良、トイレ等やむを得ない場合は、手を挙げてください。
途中退室しても、試験時間の延長はありません。
- ③試験時間中に日常生活騒音(監督者の巡回による足音・試験監督業務上必要な打合せ、航空機・自動車・風雨・空調の音、周囲の受験者のせき・くしゃみ・鼻をすする音、携帯電話や時計の短時間の鳴動、照明の点滅、周囲の建物のチャイム音など)が発生した場合でも、時間延長等の救済措置はございません。
- ④英文字や地図等がプリントされている衣服は着用しないでください。

(5) その他の注意

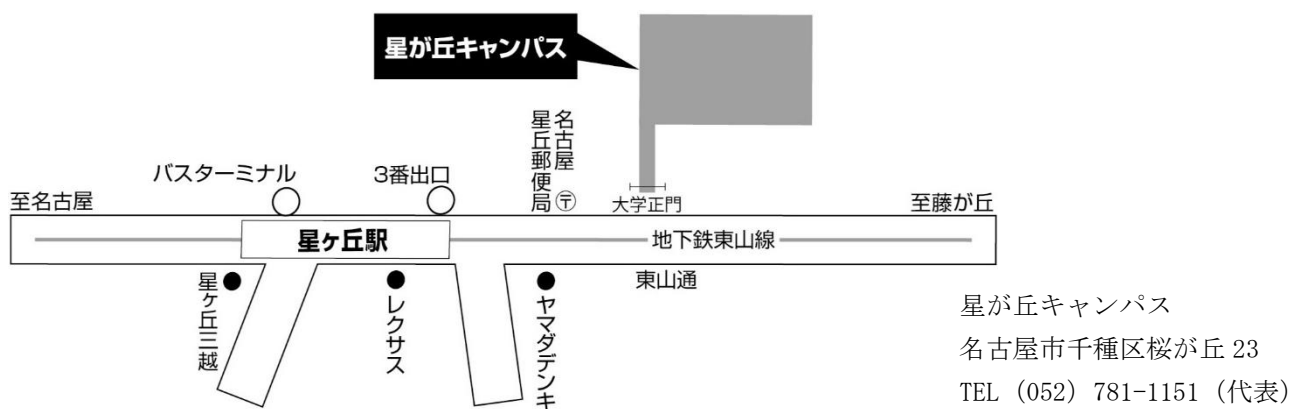
試験当日、試験室の換気のための窓の開放等をおこなう時間帯があります。各自で防寒のために上着などを持参してください。

〈学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に関する注意事項〉

試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症(新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ、麻疹、水疱瘡など)に罹患して治癒していない場合は、他の受験者や監督者等への感染のおそれがあるため、受験できません。なお、上記により試験を欠席した場合でも、追試験や再試験等の措置、および入学検定料の返還はございません。試験当日の体調管理には十分に注意してください。

5 試験会場（星が丘キャンパス）案内

地下鉄東山線「星ヶ丘駅」3番出口より徒歩約3分



〈注意〉

- ・試験会場に駐車スペースはありませんので、公共交通機関でお越しください。また、近隣の方の迷惑となりますので、送迎を含め、車での上校は固くお断りします。
- ・試験当日は、スクールバスおよびキャンパス間の連絡バスは運行しません。

6 合格発表（インターネットによる合否照会）

1. 合否結果は、合格発表当日の午前 10 時から、インターネット出願システムのマイページ内「合否結果」から確認してください。ログインする際、マイページログイン用「メールアドレス」「パスワード」が必要となります。
2. **本学での掲示発表や郵送による合格通知はおこないません。**
3. 合格した場合、インターネット出願システムのマイページ内「合格通知書／振込依頼票／入学手続要項の印刷」から必要書類を印刷してください（**7** 入学手続参照）。
4. 合否結果に関する問い合わせには、応じません。

マイページログインURL

<https://exam-entry.52school.com/aasa/my>



※大学WEBサイトからもアクセスできます。

※マイページ内「合否結果」から合否を確認してください。

〈合否照会可能期間〉

2025年12月9日(火)10:00 ～ 2025年12月15日(月)23:59

注意

1. 合否照会開始直後は混み合うため、つながりにくい場合があります。
2. 合否照会の「誤操作」「見間違い」などを理由とした、入学手続締切日後の入学手続は認めません。

7 入学手続

入学手続は、「入学手続時納入金の納入」および「学生個票等の入力」「入学手続書類の提出」によって完了します。入学手続を所定の期間内に完了しない方は、入学の意思のないものとみなし、入学を認めません。「学生個票等の入力」「入学手続書類の提出」については、2月末発送予定の「新入生のしおり」でご案内します。

＜入学手続時納入金の納入＞

マイページより「振込依頼票」を印刷し、「入学手続要項」で詳細を確認のうえ、所定の期日までに入学手続時納入金を納入してください。期日までに手続きをおこなわなかった場合は、入学資格を失います。

※第2次手続は、第1次手続を完了した者のみおこなうことができます。

下記 URL からマイページにログインし、「合格通知書／振込依頼票／入学手続要項の印刷」から印刷をしてください。

<https://exam-entry.52school.com/aasa/my>



※大学 WEB サイトからもアクセスできます。

〈印刷可能期間〉

2025年12月9日(火)10:00 ～ 2026年3月31日(火)23:59

1. **本学から合格通知書、振込依頼票、入学手続要項の郵送はおこないません。**今後の手続きについては、入学手続要項と2月末発送予定の「新入生のしおり」でご確認ください。
2. 所定の期日までに入学手続が完了しない場合は、入学資格を失います。
3. 合格者であっても、「誤操作」「見間違い」「未確認」などを理由とした締切日後の入学手続は認めません。

●外国人の合格者へ

<「留学」ビザの取得が新たに必要な外国人留学生の方へ>

入学時には「留学」ビザが必要です（ただし、すでに「永住者」「日本人の配偶者等」「永住者の配偶者等」「定住者」などの有効な在留資格を持っている方は除きます）。新規で「留学」の在留資格申請が必要な方には、合格発表日以降、本学国際交流センターから出願時のメールアドレスに、メールで手続き方法についてご連絡します。連絡が来ない場合は、申し訳ありませんが本学国際交流センターへ問い合わせてください。詳しくは「入学手続要項」にて確認してください。ビザ申請には以下の資料が必要なため、あらかじめ準備をしておいてください。

1. 証明写真データ
 2. パスポートのコピー（写真が貼られているページと過去に日本入国歴がある場合は入国時の在留資格と在留期間がわかるページ）
 3. 第1次および第2次入学手続時納入金の振込金受領書のコピー
 4. 誓約書（合格発表日以降、2種類の誓約書をお渡しします）
 5. 卒業証明書または修了証明書（出願時に見込証明書で出願された方）
- ※「留学」ビザが取得できなかった場合は、入学資格を失います。

<留学ビザの更新等のために、入学許可書が必要な外国人留学生の方へ>

外国人留学生の合格者で、留学ビザの更新等のために入学許可書の発行を希望される方は、合否結果を確認後、下記の書類を本学国際交流センター宛に郵送してください。詳しくは「入学手続要項」にて確認してください。

1. 第1次および第2次入学手続時納入金の振込金受領書のコピー
2. 誓約書（合格発表日以降、2種類の誓約書をお渡しします）
3. 卒業証明書または修了証明書（出願時に見込証明書で出願された方）
4. パスポートのコピー（写真が貼られているページと過去に日本入国歴がある場合は入国時の在留資格と在留期間がわかるページ）
5. 在留カードのコピー（表と裏の両面） *所持者のみ

<留学生寮への入居について>

本学に在学する単身の外国人留学生は、長久手キャンパス内の国際交流会館（通称アイハウス）と呼ばれる留学生寮への入居資格があります。アイハウスの詳細については、ホームページを確認してください。
(<https://www.aasa.ac.jp/institution/ihouse/>)

詳しくは「入学手続要項」にて確認してください。

【本件に関する問い合わせ先】

愛知淑徳大学 国際交流センター

TEL (052) 783-1590 (直通) FAX (052) 783-1578

e-mail : asugladm@asu.aasa.ac.jp

8 成績開示

1. 受験者本人への開示

入学試験の成績については、受験者本人から請求があった場合に開示します。成績開示を希望する受験者は、以下の要領で申し込んでください。

(1) 開示請求受付期間

2026年4月1日(水)～4月24日(金) 締切日消印有効

(2) 申請者

受験者本人に限ります(代理人による申請は不可)。

(3) 開示内容

受験科目または評価項目ごとの得点、総得点、満点値

(4) 提出書類

- ① 入学試験成績開示請求書：大学 WEB サイトより、3 月下旬からダウンロードできます。
- ② 受験票：紛失した場合は、改めて下記 URL からマイページにログインし、受験票を印刷してください。

<https://exam-entry.52school.com/aasa/my>



- ③ 開示書送付料：郵便定額小為替 500 円分(「指定受取人」欄の記入は不要)
- ④ 住民票の写し：送付先の住所が出願時の住所と異なる場合のみ、送付先が記載された住民票を提出してください。送付先の確認をします。

(5) 申し込み方法

< 郵送の場合 >

「簡易書留」でアドミッションセンター宛に郵送してください(封筒に「入学試験成績開示請求」と朱書きする)。

< 持参の場合 >

アドミッションセンターに提出してください(受付：平日/9:00～17:00)。

(6) 開示方法

「簡易書留」にて入学試験成績開示請求書記載の住所に「入学試験成績開示書」を郵送します(5 月中旬予定)。提出した受験票は、成績開示書とともに返却します。

(7) 書類の郵送先・問い合わせ先

愛知淑徳大学 アドミッションセンター

〒464-8671 名古屋市千種区桜が丘 23 TEL (052) 781-7084 (直通)

2. 出身高等学校への開示(海外帰国生のみ) ※最終在籍校が日本の高等学校の場合のみ

本学は全ての入試において、調査書等を出願書類として出身高等学校より提出いただくことから、「受験の有無」「合否結果」を出身高等学校長に親展にて通知します。あらかじめ了解のうえ、出願してください。

- (1) 上記内容の個人情報の通知は、出身高等学校に限定し、それ以外の学外他者に通知・報告等をおこなうことは一切ありません。
- (2) 何らかの理由で出身高等学校への通知を希望しない方は、出願の際、A4 用紙(書式自由)に本人直筆で「高等学校への通知を希望しない」旨の一文と郵便番号・住所・氏名・フリガナ・電話番号・学校名を記入、捺印のうえ、出願書類に同封してください。個人情報の通知を希望しない場合でも、入学試験に関して不利益が生じることはありません。

※社会人、外国人留学生については、出身高等学校へは通知しません。

9 学納金〔1年次〕

(単位：円)

学部 学科・専攻			入学手続時納入金					後期（10月）納入金				初年度納入金	
			第1次 納入金	第2次納入金				計	後期授業料	後期教育充実費	後期後援会費		計
				入学金	前期授業料	前期教育充実費	後援会入金						
文学部			200,000	395,000	185,000	5,000	5,000	790,000	395,000	185,000	5,000	585,000	1,375,000
教育学部			200,000	395,000	210,000	5,000	5,000	815,000	395,000	210,000	5,000	610,000	1,425,000
人間情報学部			200,000	395,000	210,000	5,000	5,000	815,000	395,000	210,000	5,000	610,000	1,425,000
心理学部			200,000	395,000	210,000	5,000	5,000	815,000	395,000	210,000	5,000	610,000	1,425,000
創造表現学部			200,000	395,000	185,000	5,000	5,000	790,000	395,000	185,000	5,000	585,000	1,375,000
建築学部 ※1			200,000	405,000	210,000	5,000	5,000	825,000	405,000	210,000	5,000	620,000	1,445,000
健康医療科学部	医療貢献学科	言語聴覚学専攻※2	200,000	445,000	255,000	5,000	5,000	910,000	445,000	255,000	5,000	705,000	1,615,000
		視覚科学専攻※2	200,000	445,000	255,000	5,000	5,000	910,000	445,000	255,000	5,000	705,000	1,615,000
	スポーツ・健康医科学科	理学療法学専攻※3	200,000	445,000	270,000	5,000	5,000	925,000	445,000	270,000	5,000	720,000	1,645,000
		臨床検査学専攻※3	200,000	445,000	270,000	5,000	5,000	925,000	445,000	270,000	5,000	720,000	1,645,000
		スポーツ・健康科学専攻	200,000	395,000	210,000	5,000	5,000	815,000	395,000	210,000	5,000	610,000	1,425,000
救急救命学専攻			200,000	460,000	210,000	5,000	5,000	880,000	460,000	210,000	5,000	675,000	1,555,000
食健康科学部 ※4			200,000	415,000	230,000	5,000	5,000	855,000	415,000	230,000	5,000	650,000	1,505,000
福祉貢献学部			200,000	395,000	210,000	5,000	5,000	815,000	395,000	210,000	5,000	610,000	1,425,000
交流文化学部			200,000	395,000	185,000	5,000	5,000	790,000	395,000	185,000	5,000	585,000	1,375,000
ビジネス学部			200,000	395,000	185,000	5,000	5,000	790,000	395,000	185,000	5,000	585,000	1,375,000
グローバル・コミュニケーション学部			200,000	445,000	185,000	5,000	5,000	840,000	445,000	185,000	5,000	635,000	1,475,000

※1 建築学部は、2年次以降教育充実費が年間500,000円になります。

※2 健康医療科学部 医療貢献学科 言語聴覚学専攻、視覚科学専攻は、2年次以降教育充実費が年間610,000円になります。

※3 健康医療科学部 医療貢献学科 理学療法学専攻、臨床検査学専攻は、2年次以降教育充実費が年間640,000円になります。

※4 食健康科学部は、2年次以降教育充実費が年間510,000円になります。

- ・上記以外に、入学手続金納入時に学生教育研究災害傷害保険(入学者全員加入)の4年間分の保険料として2,650円(予定)、ただし健康医療科学部・食健康科学部・福祉貢献学部は2,720円(予定)を一括徴収します。
- ・後援会は、全員加入です。後援会に代わり、大学が入会金および会費を一旦徴収します。2年次以降は会費のみで、年間10,000円になります。

高等教育の修学支援新制度について

本学は、高等教育の修学支援新制度の対象機関です。同制度による授業料等減免対象者(採用候補者)であっても、入学手続期間内に入学金および授業料等の納入が必要です。なお、入学後所定の手続きをとることにより、区分に応じた減免額を還付します。

外国人留学生の授業料減免について

入学後、「愛知淑徳大学私費外国人留学生授業料減免に関する規程」に基づく選考により、外国人留学生の授業料を30%を限度として減免する制度があります。

在学中(4年間)に別途徴収する実験実習費の概算、および学科必須の留学等費用の概算は、以下のとおりです。なお、金額は変更になる場合があります。

〈実験実習費(2025年度参考)〉

種類	実験実習費	対象学生
教育実習(小学校)	5,400円	小学校の教員免許状取得を希望する学生
教育実習(中高・栄養)	5,000円	中学校・高等学校および栄養教諭の教員免許状取得を希望する学生
教育実習(特別支援)	5,400円	特別支援学校の教員免許状取得を希望する学生
教育実習(幼稚園)	28,000円	福祉貢献学部 福祉貢献学科 子ども福祉専攻で幼稚園の教員免許状取得を希望する学生
介護等体験実習	13,300円	介護等体験・介護実践演習を履修する学生
博物館実習	17,000円	学芸員課程科目の博物館実習を履修する学生
図書館実習	3,000円	司書課程科目の図書館実習を履修する学生
オンライン検索実習	7,000円	司書資格の取得を希望する学生
公認心理師実習 (集団抗体検査費用を含む)	23,500円	心理学部 心理学科で公認心理師受験資格取得のため心理実習を希望する学生
言語聴覚士実習	300,000円	健康医療科学部 医療貢献学科 言語聴覚学専攻の学生
視能訓練士実習	150,000円	健康医療科学部 医療貢献学科 視覚科学専攻の学生
理学療法士実習	360,000円	健康医療科学部 医療貢献学科 理学療法学専攻の学生
臨床検査技師実習	350,000円	健康医療科学部 医療貢献学科 臨床検査学専攻の学生
救急救命士実習	205,000円	健康医療科学部 スポーツ・健康医科学科 救急救命学専攻の学生
管理栄養士実習	220,000円	食健康科学部 健康栄養学科の学生
食創造科学科実験実習	28,000円～83,000円	食健康科学部 食創造科学科の学生(食品衛生管理者、監視員の資格取得を希望する場合を含む)
社会福祉士実習	84,500円	福祉貢献学部 福祉貢献学科 社会福祉専攻でソーシャルワーク実習を希望する学生
精神保健福祉士実習	68,500円	福祉貢献学部 福祉貢献学科 社会福祉専攻で精神保健福祉援助実習を希望する学生
保育実習	50,000円～60,000円	福祉貢献学部 福祉貢献学科 子ども福祉専攻で保育実習を希望する学生
集団抗体検査費用	9,700円	福祉貢献学部 福祉貢献学科 子ども福祉専攻で教育実習(幼稚園)および保育実習を希望する学生

〈留学等費用(2025年度参考)〉 海外の場合、サーチャージや為替により変動することがあります。

学科	科目名	費用(自己負担額)
ビジネス学科	Bilingual Internship(3・4年次選択必修)	(国内) 200,000円～300,000円*
		(海外) 450,000円～750,000円*
グローバル・コミュニケーション学科	Study Abroad(2年次必修)	500,000円～990,000円*

※ 派遣先、留学先により、費用が異なります。

10 奨学金

1 日本学生支援機構奨学金(2025年度)

日本学生支援機構奨学金には、貸与型と給付型があり、それぞれ定められた条件があります。

・貸与奨学金

貸与奨学金には「第一種(無利子貸与)」および「第二種(有利子貸与)」があります。

貸与奨学金の場合、卒業後20年以内(最長)に返還する義務があり、申込時には連帯保証人および保証人を立てる必要があります(機関保証制度を選択した場合は不要)。

種類	第一種(無利子貸与)	第二種(有利子貸与)
金額 (月額)	[自 宅 生] 2万円、3万円、4万円、5万4千円から選択 [自宅外生] 2万円、3万円、4万円、5万円、6万4千円から選択	2万円～12万円の中から1万円単位で選択

・給付奨学金・授業料等減免

給付奨学金は原則として返還義務のない奨学金です。世帯の所得金額に基づく区分(第I区分～第IV区分)に応じて支給金額が異なります。また、給付奨学金の対象者は、授業料等減免の手続きをおこなうことで、授業料等減免を同時に受けることができます。なお、本学では高等学校在学時に採用された方も入学手続期限までに入学金を含む入学手続時納入金を納入いただき、入学後所定の手続をとることにより、区分に応じた減免額を還付します。

区分	支給月額		授業料等減免
	自宅通学	自宅外通学	
第I区分	38,300円(42,500円)	75,800円	授業料減免上限額の70万円免除 入学金20万円免除(新入生のみ)
第II区分	25,600円(28,400円)	50,600円	第I区分の減免額の2/3
第III区分	12,800円(14,200円)	25,300円	第I区分の減免額の1/3
第IV区分 (多子世帯に限る)	9,600円(10,700円)	19,000円	第I区分の減免額の1/4

※自宅外通学の場合、自宅外通学であることの証明書類の提出が必要

※生活保護世帯で自宅から通学する人および児童養護施設等から通学する人は上表のカッコ内の金額

愛知淑徳大学は高等教育の修学支援新制度についての対象機関です。なお、人間情報学部人間情報学科、創造表現学部創造表現学科、建築学部建築学科は同制度理工農系学部・学科の対象です。

2 愛知淑徳大学独自の奨学金(2025年度)

奨励給付奨学金1	対象者	学部の3年生、4年生で特に学業成績優秀な者。		採用人数	各学科・専攻ごとに異なる(各学年次において2～4名)		給付額	年額10万円	
	成績条件	GPAと修得単位数の条件あり		選考基準	学部からの推薦による		備考	2年連続しての受給も可	
奨励給付奨学金2 (私費外国人留学生)	対象者	グローバル入試のうち、「外国人留学生(一般)」もしくは「外国人留学生(学校推薦)」で入学した外国人留学生							
	採用人数	各学年若干名		給付額	年額40万円		成績条件	修得単位数の条件あり	
	選考基準	支給条件に該当する資格を取得した者		備考	各支給対象資格に対し1回ずつ、在学中4回まで。				
特別給付奨学金1 (緊急支援)	対象者	学部生。主たる家計支持者の死亡、疾病、失業、破産(入学後に発生した事由を対象とし、申請時1年以内の事情に限る)により、経済的に就学が困難な者。							
	採用人数	若干名	給付額	年額50万円	成績条件	修得単位数の条件あり		備考	同事由に対しては、在学中1回とする。
特別給付奨学金1 (災害支援)	対象者	学部生。主たる家計支持者の地震・風水害等の被災(入学後に発生した事由を対象とし、申請時1年以内の事情に限る)により、経済的に就学が困難な者。							
	採用人数	若干名	給付額	年額20万円	成績条件	修得単位数の条件あり		備考	同事由に対しては、在学中1回とする。
特別給付奨学金2 (海外留学派遣)	対象者	交換留学生		採用人数	【渡航支援】交換留学生全員 【留学支援】若干名				
	給付額	【渡航支援】留学先により10万円～20万円 【留学支援】留学先国、留学期間により20万円～80万円				成績条件	【留学支援】交換留学等の留学生試験の成績優秀者		
愛知淑徳大学 同窓会奨学金 修学奨学金	対象者	学部の4年生							
	採用人数	各学科・専攻ごとに異なる(2～4名)			給付額	年額10万円			
	成績条件	4年次前期までの通算GPAが3.0以上であること。			備考	申請年度の3月に卒業する見込みで、愛知淑徳大学同窓会の活動を理解し、入会するものに限る。特別給付奨学金受給者も申請可。			
愛知淑徳大学 同窓会奨学金 留学生奨学金 (外国人留学生)	対象者	「留学」の在留資格を有する外国人留学生。学業成績および人物考課が特に優れている者。							
	採用人数	約20名				給付額	10万円		
	成績条件	学業成績、履修科目数・履修状況、学習態度、生活態度等も含め、総合的に評価する。				備考	在学中1回とする。他の奨学金(学外)との併願可。		

3 その他の奨学金

地方公共団体や民間団体による奨学金制度は、随時案内します。

国の教育ローン(日本政策金融公庫)

「国の教育ローン」コールセンター 0570-008656 ホームページ <https://www.jfc.go.jp/n/finance/search/ippan.html>

学部	学科・専攻		募集人員	出願資格	志願者	受験者	合格者
文学部	国文学科		若干名	社 会 人	0	0	0
				海 外 帰 国 生	0	0	0
				外国人留学生	0	0	0
	教育学科		若干名	社 会 人	0	0	0
				海 外 帰 国 生	0	0	0
				外国人留学生	0	0	0
人間情報学部	人間情報 学科	感性工学専攻	若干名	社 会 人	0	0	0
				海 外 帰 国 生	0	0	0
				外国人留学生	0	0	0
		データサイエンス専攻	若干名	社 会 人	0	0	0
				海 外 帰 国 生	0	0	0
				外国人留学生	0	0	0
心理学部	心理学科		若干名	社 会 人	1	1	0
				海 外 帰 国 生	0	0	0
				外国人留学生	0	0	0
創造表現学部	創造表現 学科	創作表現専攻	若干名	社 会 人	0	0	0
				海 外 帰 国 生	0	0	0
				外国人留学生	0	0	0
		メディア プロデュース専攻	若干名	社 会 人	0	0	0
				海 外 帰 国 生	0	0	0
				外国人留学生	0	0	0
		建築・まちづくり専攻	若干名	社 会 人	0	0	0
				海 外 帰 国 生	0	0	0
				外国人留学生	0	0	0
		住居・ インテリアデザイン専攻	若干名	社 会 人	0	0	0
				海 外 帰 国 生	0	0	0
				外国人留学生	1	1	1
健康医療科学部	医療貢献 学科	言語聴覚学専攻	若干名	社 会 人	0	0	0
				海 外 帰 国 生	0	0	0
				外国人留学生	0	0	0
		視覚科学専攻	若干名	社 会 人	0	0	0
				海 外 帰 国 生	0	0	0
				外国人留学生	0	0	0
		理学療法学専攻	若干名	社 会 人	0	0	0
				海 外 帰 国 生	0	0	0
				外国人留学生	0	0	0
		臨床検査学専攻	若干名	社 会 人	1	1	0
				海 外 帰 国 生	0	0	0
				外国人留学生	0	0	0
	スポーツ・ 健康医科 学科	スポーツ・健康科学専攻	若干名	社 会 人	1	1	0
				海 外 帰 国 生	0	0	0
				外国人留学生	0	0	0
		救急救命学専攻	若干名	社 会 人	0	0	0
				海 外 帰 国 生	0	0	0
				外国人留学生	0	0	0
食健康科学部	健康栄養学科		若干名	社 会 人	0	0	0
				海 外 帰 国 生	0	0	0
				外国人留学生	0	0	0
	食創造科学科		若干名	社 会 人	0	0	0
				海 外 帰 国 生	0	0	0
外国人留学生				0	0	0	
福祉貢献学部	福祉貢献 学科	社会福祉専攻	若干名	社 会 人	0	0	0
				海 外 帰 国 生	0	0	0
				外国人留学生	0	0	0
		子ども福祉専攻	若干名	社 会 人	0	0	0
				海 外 帰 国 生	0	0	0
				外国人留学生	0	0	0

学部	学科・専攻		募集人員	出願資格	志願者	受験者	合格者
交流文化学部	交流文化 学科	ランゲージ専攻	若干名	社 会 人	0	0	0
				海 外 帰 国 生	0	0	0
		国際交流・観光専攻	若干名	社 会 人	0	0	0
				海 外 帰 国 生	0	0	0
ビジネス学部	ビジネス学科	若干名	社 会 人	0	0	0	
			海 外 帰 国 生	0	0	0	
グローバル・ コミュニケーション学部	グローバル・ コミュニケーション学科	若干名	社 会 人	0	0	0	
			海 外 帰 国 生	0	0	0	

* 交流文化学部、ビジネス学部、グローバル・コミュニケーション学部の外国人留学生は、グローバル入試で実施します。

12 過去の入試問題について

過去3年間分の入試問題を大学WEBサイトで公開しています。ただし、受験者がいなかった場合は、公開できません。閲覧にはパスワードが必要です。

URL : <https://www.aasa.ac.jp/examination/past.html>

パスワード : kakomon



不正行為の取り扱いについて

愛知淑徳大学では、入学試験を厳正に実施し、すべての受験者が公平・公正に受験できるよう、以下の注意事項を定めています。本学の受験に際しては、この注意事項を熟読のうえ、真剣な態度で試験に臨んでください。

1. 不正行為の取り扱いについて

不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、当日それ以降の受験はできなくなります。失格となり、受験したすべての教科・科目の成績を無効とします。その場合、入学検定料は返還しません。試験終了後に不正行為が発覚した場合も、同様に取り扱います。なお、不正行為については、状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。

2. 次のことをすると不正行為となります。

- ①出願書類や解答用紙へ故意に虚偽の記入をすること。
- ②カンニング(試験時間中に試験の教科・科目に関するメモや参考書等を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わること等)をすること。
- ③他の受験者に答えを教えたり、カンニングの手助けをすること。
- ④試験時間中に問題冊子、解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- ⑤「解答はじめ」の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。
- ⑥試験時間中に使用が許可されていないもの(携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末(スマートウォッチやスマートグラス等)、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン・ヘッドホン等の電子機器類や耳栓、定規(定規の機能を備えた鉛筆等を含む)、コンパス、電卓、電動式鉛筆削り、下敷き)を使用すること。
- ⑦「解答やめ」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり、解答を続けること。
- ⑧面接試験・プレゼンテーション試験において試験前に、控室等で携帯電話等の電子機器類を使用すること。
- ⑨面接試験・プレゼンテーション試験において試験前に、すでに試験が終了した他の受験者から試験に関する内容を教えてもらうこと。
- ⑩面接試験・プレゼンテーション試験において試験後に、これから試験を受ける他の受験者に試験に関する内容を教えること。

3. 次のことをすると不正行為となる場合があります。

- ①試験時間中に、使用が許可されていないもの(携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末(スマートウォッチやスマートグラス等)、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン・ヘッドホン等の電子機器類や耳栓、定規(定規の機能を備えた鉛筆等を含む)、コンパス、電卓、電動式鉛筆削り、下敷き)をかばん等にしまわず、身に着けていたり手に持っていたりすること。
- ②試験時間中に、携帯電話や時計の音(着信・アラーム・振動音等)を長時間鳴らす等、試験の進行に影響を与えること。
- ③試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申し出をすること。
- ④面接試験・プレゼンテーション試験において試験前に、控室等で携帯電話等の電子機器類を身に着けていたり手に持っていたりすること。
- ⑤試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- ⑥試験場において監督者等の指示に従わないこと。
- ⑦その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

入試に関する生成AI(ChatGPTなど)の取り扱いについて

入学者選抜において、出願時に提出する書類(「志望理由書」「課題レポート」「自己アピール書」など)については、生成AIによって作成されたものを受験者独自の成果物とはみなしません。よって、生成AIに関する指示がない限り、入学者選抜において受験者が生成AIを使用することは認めません。



◆キャンパスのご案内◆

星が丘キャンパス 〒464-8671 名古屋市千種区桜が丘 23

長久手キャンパス 〒480-1197 愛知県長久手市片平二丁目 9

◆問い合わせ先◆

愛知淑徳大学 アドミッションセンター(星が丘キャンパス)

TEL(052)781-7084(直通)

平日/9:00~17:00

※土・日・祝日、7月25日、8月8日~8月18日、
12月25日~1月4日は電話受付をしております。

<https://www.aasa.ac.jp/>

●試験当日の問い合わせ先

星が丘キャンパス TEL(052)781-1151(代表)

様式(本学所定用紙)

この「様式」は、大学WEBサイトにも掲載しています。枚数が不足する場合や書き損じた場合は、ダウンロードして使用してください。

【特別選抜入試(社会人)】

- A-1 志望理由書(2枚)
- A-2 自己アピール書(3枚)
- A-3 履歴書・社会活動経歴書(1枚)

【特別選抜入試(海外帰国生)】

- B-1 志望理由書(2枚)
- B-2 自己アピール書(3枚)
- B-3 身上記録書(1枚)

【特別選抜入試(外国人留学生)】

事前出願
資格確認
関係書類

- C-1 事前出願資格確認 提出書類 チェックリスト
- C-2 事前出願資格確認申請書(2枚)
- C-3 パスポートのコピー貼付用紙(1枚)
- C-4 日本語能力に関する書類のコピー貼付用紙(1枚)
- C-5 経費支弁書(1枚)

出願書類

- C-6 志望理由書(2枚)
- C-7 自己アピール書(3枚)
- C-8 身元保証書(1枚)

A-1

1/2

2026 年度 特別選抜入試(社会人)
志望理由書

フリガナ	姓				名	
氏名						
志望 学科・専攻 ○で囲む	国文	教育	感性工学	データ サイエンス	数学・ 情報教員養成	
	心理	創作表現	メディア プロデュース	建築・ まちづくり	住居・ インテリアデザイン	
	言語聴覚学	視覚科学	理学療法学	臨床検査学	スポーツ・ 健康科学	
	救急救命学	健康栄養	食創造科学	社会福祉	子ども福祉	
	ランゲージ	観光	ビジネス	グローバル・ コミュニケーション		

- 志望する学科・専攻への志望理由と入学後の目標、大学生活への抱負などについて、1枚目に簡条書きにし、2枚目に600字以内の文章でまとめる
- ※消えないインクの黒ボールペンで横書き

志望理由（簡条書き）

2 / 2

[illegible]

200

400

600

自己アピール書

フリガナ	姓			名	
氏名					
志望 学科・専攻 ○で囲む	国文	教育	感性工学	データ サイエンス	数学・ 情報教員養成
	心理	創作表現	メディア プロデュース	建築・ まちづくり	住居・ インテリアデザイン
	言語聴覚学	視覚科学	理学療法学	臨床検査学	スポーツ・ 健康科学
	救急救命学	健康栄養	食創造科学	社会福祉	子ども福祉
	ランゲージ	観光	ビジネス	グローバル・ コミュニケーション	

- 社会人としての活動状況をふまえた自己アピール、社会活動をとおして取り組んだ事項について、1,500 字以内の文章でまとめる ※消えないインクの黒ボールペンで横書き

[illegible]

2 / 3

フリガナ

姓

名

氏 名

600

800

1000

3 / 3

フリガナ	姓	名
氏 名		

[illegible]

1400

1500

A-3

2026 年度 特別選抜入試(社会人) 履歴書・社会活動経歴書

フリガナ				生年月日	
氏名	男 ・ 女			(西暦)	年 月 日
志望 学科・専攻 ○で囲む	国文	教育	感性工学	データ サイエンス	数学・ 情報教員養成
	心理	創作表現	メディア プロデュース	建築・ まちづくり	住居・ インテリアデザイン
	言語聴覚学	視覚科学	理学療法学	臨床検査学	スポーツ・ 健康科学
	救急救命学	健康栄養	食創造科学	社会福祉	子ども福祉
	ランゲージ	観光	ビジネス	グローバル・ コミュニケーション	
学歴					
学 校 名		課 程	学 科	入 学	卒業・退学
高等学校		全日制 定時制 通信制	普通科 その他	(西暦) 年 月	(西暦) 年 月
高等学校卒業程度認定試験 ・ 大学入学資格検定				合 格 年 月 (西暦) 年 月	
学 校 名		学 部 ・ 学 科		入 学	卒業・修了・退学
大 学 短期大学 専修学校				(西暦) 年 月	(西暦) 年 月
職歴					
勤務先名称		職務内容		就職	退職
				(西暦) 年 月	(西暦) 年 月
				 年 月	 年 月
				 年 月	 年 月
特技・資格					
名 称			認 定 団 体 名		取 得
					(西暦) 年 月
					 年 月
					 年 月
その他社会人としての活動					

B - 1

1 / 2

2026 年度 特別選抜入試(海外帰国生)
志望理由書

フリガナ	姓			名	
氏名					
志望 学科・専攻 ○で囲む	国文	教育	感性工学	データ サイエンス	数学・ 情報教員養成
	心理	創作表現	メディア プロデュース	建築・ まちづくり	住居・ インテリアデザイン
	言語聴覚学	視覚科学	理学療法学	臨床検査学	スポーツ・ 健康科学
	救急救命学	健康栄養	食創造科学	社会福祉	子ども福祉
	ランゲージ	観光	ビジネス	グローバル・ コミュニケーション	

- 志望する学科・専攻への志望理由と入学後の目標、大学生活への抱負などについて、1枚目に簡条書きにし、2枚目に600字以内の文章でまとめる

※日本語・消えないインクの黒ボールペンで横書き

志望理由（簡条書き）

2 / 2

[illegible]

フリガナ	姓	名
氏 名		

400

600

1 / 3

自己アピール書

志望
学科・専攻
○で囲む

- ※消えないインクの黒ボールペンで横書き

[illegible]

200

400

2 / 3

フリガナ

姓	
---	--

名

氏 名

600

800

1000

3 / 3

フリガナ

姓

名

氏 名

1200

1400

1500

B - 3

2026 年度 特別選抜入試(海外帰国生)

身上記録書

フリガナ				生年月日	
氏名	男 ・ 女			(西暦) 年 月 日	
志望 学科・専攻 ○で囲む	国文	教育	感性工学	データ サイエンス	数学・ 情報教員養成
	心理	創作表現	メディア プロデュース	建築・ まちづくり	住居・ インテリアデザイン
	言語聴覚学	視覚科学	理学療法学	臨床検査学	スポーツ・ 健康科学
	救急救命学	健康栄養	食創造科学	社会福祉	子ども福祉
	ランゲージ	観光	ビジネス	グローバル・ コミュニケーション	

海外 在住 歴	国名	期間	在住理由 (☑してください)
			☐ 保護者の海外赴任に伴ったため ☐ 奨学金を得て留学したため ☐ 海外で生まれ育ったため ☐ その他： _____
	出願時の通算在外年数	年 カ月	

学歴 (小学校から高等学校までの順に入学・卒業のすべてを記入する)					
学校名	学校所在地	入学(転・編入学) (西暦)	卒業・修了・退学 (見込みを含む) (西暦)	在学期間	在籍学年 (高1～高3 Y10～12 など)
		年 月	年 月	年 カ月	
		年 月	年 月	年 カ月	
		年 月	年 月	年 カ月	
		年 月	年 月	年 カ月	
		年 月	年 月	年 カ月	
		年 月	年 月	年 カ月	
通算修学期間 (予定も含む) (海外における通算修学年数)				年 カ月 (年 カ月)	

日本語の能力 (☑してください)		日本語による大学生活に全く不安を感じない
		日本語による大学生活にやや不安を感じる
		日本語による大学生活に困難が予想される

C - 1

2026 年度 特別選抜入試(外国人留学生) 事前出願資格確認 提出書類チェックリスト

事前出願資格確認に必要な提出書類一覧を確認し、チェック (☑) してください。
このチェックリストは下記書類に添えて提出してください。

チェック	提出書類等
☐	事前出願資格確認申請書(本学所定用紙)
☐	高等学校の卒業証明書(卒業見込証明書)の原本 【コピー不可】
☐	高等学校の学業成績証明書の原本 【コピー不可】
☐	高等学校の教育内容などを証明できるもののコピー
☐	パスポートのコピー(本学所定用紙に貼付)
☐	在留カードのコピー ※所持者のみ
☐	日本語能力に関する書類のコピー(本学所定用紙に貼付)
☐	経費支弁書(本学所定用紙)
☐	経費支弁関係書類 【コピー不可】 (預金残高証明書、収入証明書、在職証明書、奨学金証明書、出願者との関係証明書など)

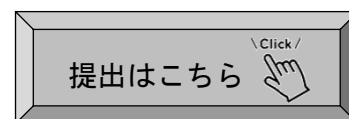
〈提出方法〉

提出書類をそろえて、すべての書類を①、②の手順で提出してください。

① メールに添付して送信(PDF ファイル)

全ての書類を PDF で以下のメールアドレスに送付してください。

メールアドレス: asu_globaldoc@asu.aasa.ac.jp



② 郵送にて送付

PDF での提出書類を確認後、提出先を連絡します。国内からの場合は「簡易書留」(封筒は任意)、海外からの場合は EMS や DHL 等、速達で配達状況が確認できる国際郵便または国際宅配便を利用して送ってください。

〈注意事項〉

- ・ 書類はすべて黒のボールペンで記入してください(鉛筆、消せるボールペンは使用不可)。
- ・ 書類に不備・不足がある場合は受け付けません。
- ・ 一度提出した書類は、**一切返却しません**。必要に応じ、追加資料の提出を求めることがあります。
- ・ 書類に虚偽の記入や改ざんが発覚した場合は受験資格を失い、合格後であっても入学資格を取り消します。

C - 2

1 / 2

2026 年度 特別選抜入試(外国人留学生)

事前出願資格確認申請書

志望 学科・専攻 ○で囲む	国文	教育	感性工学	データ サイエンス	数学・ 情報教員養成
	心理	創作表現	メディア プロデュース	建築・ まちづくり	住居・ インテリアデザイン
	言語聴覚学	視覚科学	理学療法学	臨床検査学	スポーツ・ 健康科学
	救急救命学	健康栄養	食創造科学	社会福祉	子ども福祉

フリガナ			
氏 名			
パスポート表記氏名			
国 籍		性別 (☒)	男 ☐ 女 ☐
生 年 月 日	西暦 年 月 日	年 齢	歳 (2026年4月1日時点)
現 住 所	該当箇所 to ☒ してください。 ☐ 日本国内在住 (日本語で記入) ☐ 海外在住 (〒) Tel. () ー 携帯電話 () ー		
E-mail Address	※確実に連絡のとれるメールアドレスを必ず記入すること @		

● 在留資格の有無 (☒)

有 ☐ ※下記に詳細を記入すること	無 ☐
→ 在留資格 _____ 在留期間(満了日) _____ 年 月 日	

● 入学後、新たに「留学」ビザの取得を必要とする者のみ ☒ してください。

☐ 「留学」ビザの取得を必要とする。

C - 2

2 / 2

フリガナ	姓	名
氏 名		

- 学歴 (注) 小学校から始めて、通学したすべての学校を年代順に記入すること。

学校名	所在地	在学期間（予定も含む）	在学年数	在籍学年 (高1～高3, Y10～Y12など)
		年 月 ～ 年 月	年	
		年 月 ～ 年 月	年	
		年 月 ～ 年 月	年	
		年 月 ～ 年 月	年	
		年 月 ～ 年 月	年	
		年 月 ～ 年 月	年	
小学校から高校卒業までの通算期間（予定も含む）			年	月

- 日本語学習歴 (注) 現在までの日本語学習歴を記入すること(現在、日本語教育施設等に在籍している者は修了予定年月を記入する。日本語塾・教室、個人レッスン、独学等の場合も記入する)。

学 校 名	所 在 地	学 習 期 間
		年 月 ～ 年 月
		年 月 ～ 年 月

- 資格など (注) 該当箇所に☑したうえで必要事項を記入すること。

☐ 日本語能力試験(JLPT) N 1	(西暦) 年 月 日 取得												
☐ 日本留学試験(EJU) 「日本語」科目	☐ 2024年度 第2回(11月実施)		読解、聴解・聴読解				得点		点				
			記 述				得点		点				
	☐ 2025年度 第1回(6月実施)		読解、聴解・聴読解				得点		点				
			記 述				得点		点				
	受験番号		*				*						

C－3

2026 年度 特別選抜入試(外国人留学生) パスポートのコピー貼付用紙

出 願 者 氏 名

パスポート（写真が貼られているページ）をコピーし、貼付してください。

C - 4

2026 年度 特別選抜入試(外国人留学生) 日本語能力に関する書類のコピー貼付用紙

記入日	(西暦)
	年 月 日

私は、愛知淑徳大学より実施団体へ真偽確認や成績請求をすることに同意します。

出 願 者 氏 名	
-----------	--

下記のいずれかをコピーし、貼付してください。

- 「日本語能力試験(JLPT)」N1の日本語能力認定書のコピー
- 「日本留学試験(EJU)」の受験票（または成績確認書）のコピー

※出願後の変更はできません。

<注意事項>

- 「日本語能力試験(JLPT)」N1の日本語能力認定書のコピーを提出する場合
 - ・本学より実施団体へ真偽確認の依頼をする場合があります。これに同意のうえ、提出してください。
- 「日本留学試験(EJU)」の受験票（または成績確認書）のコピーを提出する場合
 - ・対象の日本留学試験は下記の通りです。
2024年度 第2回日本留学試験（2024年11月実施）
2025年度 第1回日本留学試験（2025年6月実施）
 - ・「日本語」科目において読解、聴解・聴読解250点以上および記述35点以上であることを確認してください。
 - ・記載されている氏名と、その他の出願書類の氏名が一致していることを確認してください。
 - ・本学より実施団体へ成績請求をおこないます。

C - 5
2026 年度 特別選抜入試(外国人留学生)
経費支弁書

PLEDGE WRITTEN BY THE SPONSOR

この書類には経費支弁者の経費支弁能力を証明できる以下①～④の書類をすべて添付してください。
 ただし、出願者本人が経費支弁者となる場合は①の書類のみで結構です。詳細は入学試験要項 P. 15 を確認してください。

①預金残高証明書^(注) ②収入証明書 ③在職証明書 ④出願者との関係証明書

(注) 1年間の学費及び生活費相当額(預金残高証明書の額面 200 万円以上)を支弁できることが証明できること。ただし、出願者本人が経費支弁者となる場合は、以下の要件をすべて満たすこと。

- ・出願時において 20 歳以上で、就業等の社会経験を有していること(この場合の就業等にアルバイトは含まない)
 - ・在学中の学費等を支弁する資力を証明できること。
- ※4年間の学費及び1年間の生活費相当額(本人名義の預金残高証明書の額面 500 万円以上)

愛知淑徳大学長殿

To President of Aichi Shukutoku University

出願者氏名 Name of Applicant			
国籍 Nationality		生年月日 Date of Birth	年 月 日 year month day

私は、上記の者が、愛知淑徳大学に在学中の留学費用(学費及び生活費)について責任をもって支弁し、貴大学にご迷惑をかけないことを誓約します。

I shall be responsible for the payment of all educational expenses (School expenses and Living expenses) for above-named applicant for the duration on his or her stay at Aichi Shukutoku University.

経費支弁者氏名 Name of Financial Supporter	
英字氏名 Name in English	
住所 Present Address	
電話番号 Phone	
職業(勤務先の名称) Occupation(Place of employment)	
出願者との関係 Relationship to the Applicant	

2025 年 月 日
year month day

経費支弁者氏名
Name of Financial Supporter

C－6

1 / 2

2026 年度 特別選抜入試(外国人留学生)
志望理由書

フリガナ	姓				名	
氏名						
志望 学科・専攻 ○で囲む	国文	教育	感性工学	データ サイエンス	数学・ 情報教員養成	
	心理	創作表現	メディア プロデュース	建築・ まちづくり	住居・ インテリアデザイン	
	言語聴覚学	視覚科学	理学療法学	臨床検査学	スポーツ・ 健康科学	
	救急救命学	健康栄養	食創造科学	社会福祉	子ども福祉	

- 志望する学科・専攻への志望理由と入学後の目標、大学生活への抱負などについて、1枚目に簡条書きにし、2枚目に600字以内の文章でまとめる
 ※日本語・消えないインクの黒ボールペンで横書き

志望理由（簡条書き）

2 / 2

志望理由 (文章)

フリガナ	姓	名
氏 名		

[illegible]

200

400

600

1 / 3

自己アピール書

フリガナ	姓			名	
氏名					
志望 学科・専攻 ○で囲む	国文	教育	感性工学	データ サイエンス	数学・ 情報教員養成
	心理	創作表現	メディア プロデュース	建築・ まちづくり	住居・ インテリアデザイン
	言語聴覚学	視覚科学	理学療法学	臨床検査学	スポーツ・ 健康科学
	救急救命学	健康栄養	食創造科学	社会福祉	子ども福祉

- 自分自身を特にアピールできる事項について、日本語で 1,500 字以内の文章でまとめる

※消えないインクの黒ボールペンで横書き

[illegible]

200

400

2 / 3

フリガナ

姓	
---	--

名

氏 名

600

800

1000

C - 7

フリガナ	姓	名
氏 名		

[illegible]

1200

1400

1500

C - 8

(西暦)

年 月 日

2026 年度 特別選抜入試(外国人留学生) 身元保証書

愛 知 淑 徳 大 学

学長 五島 幸一 殿

このたび、下記の者が貴大学 _____ 学部 _____ 学科

_____ 専攻(人間情報学科、創造表現学科、建築学科、医療貢献学科、スポーツ・健康医科学科、福祉貢献学科は記入)

を受験するにあたり、入学を許可されましたうえは、本人に関するすべてのことならびに

- (1) 貴大学在学中は日本国法令を堅く守ること
- (2) 貴大学在学中は学則を守り、学業に専念すること
- (3) 貴大学在学中の学費については所定の金額を納付すること

を保証することを誓約いたします。

(受験者)

氏 名		
国 籍		
入学後の住所 (予定住所)	〒	
保 護 者 氏 名		
保護者現住所	〒	
	TEL () —	

(保証人)

氏 名		
現 住 所	〒	
受験者との関係		

※保証人は保護者またはそれに準ずる人